

会 告 目 次

会告目次	1
平成10年度役員選挙について	2
IPSIカレンダー	9
研究発表会開催通知	11
第27回グループウェア研究会	11
第120回計算機アーキテクチャ研究会	} 合同研究会
第70回ハイパフォーマンスコンピューティング研究会	
第20回オーディオビジュアル複合情報処理研究会	12
第118回ソフトウェア工学研究会	12
第124回自然言語処理研究会	13
第77回ヒューマンインタフェース研究会	13
第11回デジタル・ドキュメント研究会	13
第111回知能と複雑系研究会	14
第67回情報システム研究会	14
第110回コンピュータビジョンとイメージメディア研究会	14
第18回数値モデル化と問題解決研究会	14
第61回アルゴリズム研究会	15
第47回コンピュータと教育研究会	15
第18回プログラミング研究会	15
研究発表会参加・発表申込方法・研究報告について	17
研究グループについて	18
「インタラクション'98」参加者募集	18
「グラフィクスとCADシンポジウム」論文募集	19
大学の理工系学部情報系学科のためのコンピュータサイエンス教育カリキュラムJ97頒布のお知らせ	20
情報処理学会シンポジウム、講習会等論文集リスト(95, 96, 97年版)	20
新しい論文誌(研究会論文誌)の発行について	21
会員の皆様へのお知らせ・お願い(会員係)	21
支部だより	22
会議案内(協賛・後援)	22
第426回理事会	24
採録原稿一覧	24
新規入会者の紹介	25
事務局だより	25
有料会告について	26
平成10年度研究会・研究グループのお知らせ	27
平成10年度研究会・研究グループ研究発表会開催予定	31
平成10年度研究会登録申込書	34
研究会発表申込書	35
平成10年度シンポジウム等行事予定一覧	36
情報処理学会「行事」申込書	37
情報処理学会「書籍」申込書	38
雑報	23
寄贈図書一覧	23



社団法人 情報処理学会
Information Processing Society of Japan

<http://www.ipsj.or.jp>

本誌共定価 1680円(本体1600円)

平成10年度役員選挙について

本会定款第20条に基づき、来る5月20日（水）開催の第40回通常総会をもって本会役員の半数が退任します。平成10年度の役員選挙は、2月初旬に別途送付しました投票用紙（往復はがき）により行いますので、正会員各位は下記の要領により、同投票用紙にておれなく投票をお願いいたします。

投票用紙記載の候補者は、有権者の参考に供するために、本会理事会が推薦したものです。これらの候補者の中から選定される場合は、下記の候補者名簿をご参照のうえ投票してください。ただし、これらの候補者以外の会員（正会員に限る）を選定される場合は、それぞれの区分の空欄に氏名、所属をご記入ください。

記

1. 別送の投票用紙（返信はがき）の選定欄に○印をおつけください。
2. 副会長、監事は1名の単記、理事は教育分野では3名以内、製造分野では4名以内、利用他分野では2名以内の連記とします。これをこえた場合は無効となりますので、ご注意ください。
3. 改選定数は副会長1名、監事1名、理事9名です。
4. 投票の締切は平成10年3月2日（月）の必着といたします。
5. 投票用紙（はがき）は料金受取人払いですから、切手を貼付する必要はありません。
6. 投票用紙記載の候補者は50音順です。
7. 1月26日（月）現在で本年度会費未納者には投票用紙は送付いたしません。

平成10年度役員改選候補者名簿

（氏名は50音順）

役職名	候補者名（ローマ字） （出身校学部卒年）	勤務先および役職名 （平成10年1月現在）	略歴・専門分野等
副 会 長	稲垣 康善 (INAGAKI, Yasuyoshi) (名大昭37卒)	名古屋大学工学研究科教授、 工学研究科長、工学部長	昭和37年3月名古屋大学工学部電子工学科卒業。昭和39年同大学院（修）、昭和42年同大学院（博）修了。工博。名大助手、助教授、三重大教授を経て、昭和56年名大教授。現在の専門分野：オートマトン・言語理論、プログラムの論理、知識と推論、自然言語処理など、情報処理の基礎理論。
	[抱負] 21世紀に向けて情報科学・技術は、コンピューティング、インフォメーション・ベース、コミュニケーションが統合され、社会のあらゆる分野でその重要性がますます高まっています。本学会は、会員数約3万を擁する我が国で最大の情報科学・技術の学会であり、この分野の学問・技術・産業の発展のために中心的役割をはたし社会と文化の発展に貢献することは本学会の責務であると考えます。そのために学会活動の活性化の推進、国際的研究センターを目指した研究活動の向上、常なる情報分野の最新のビジョンの提示、情報ネットワークの時代に相応しい情報発信の機能の向上はさしあたっての重要課題であると考えます。		
	松下 温 (MATSUSHITA, Yutaka) (慶大昭38卒)	慶應義塾大学理工学部教授	昭和38年慶應義塾大学工学部電気工学科卒業。昭和44年イリノイ大学計算機科学専攻卒業。平成元年より慶應義塾大学理工学部教授。昭和52年工学博士。専門は計算機ネットワーク、モバイルコンピューティング、CSCWとグループウェア。
[抱負] 情報処理学会では、学会誌編集担当理事、マルチメディア通信と分散処理研究会主査、グループウェア研究会主査などを歴任。IEEE ICDCS (Distributed computing systems), IEEE ICNP (Networks and protocols)などのプログラム委員長、大会委員長を歴任し国際会議の経験も豊富。 情報と通信は21世紀を支える重要な基盤テクノロジーといわれています。それにもかかわらず、当学会では、会員数が減少し、投稿論文の数も増大傾向ではありません。魅力ある学会として活性化することが求められています。論文の品質の維持と産業により密着した事業推進と一見相反する2つを両立させることが最も重要と考えます。さらに、論文査読の迅速化がもう1つの柱です。			

役職名	候補者名（ローマ字） （出身校学部卒年）	勤務先および役職名 （平成10年1月現在）	略歴・専門分野等
監事	土居 範久 (DOI, Norihisa) (慶大昭39卒)	慶應義塾大学理工学部 情報工学科教授	昭和44年慶應義塾大学大学院博士課程修了。工学博士。情報処理学会理事，日本ソフトウェア科学会理事，人工知能学会理事，情報処理学会論文誌編集委員長などを歴任。現在，日本学術会議委員，日本学術会議複合領域研究連絡委員会運営協議会委員長，日本学術会議情報学研究連絡委員会委員長。
	[抱負] 先進主要諸国が高度情報社会に向けて努力している中であって，我が国を取り巻くアジア諸国の情報技術分野におけるここ数年の発展には目を見張るものがある。なかでも，韓国，台湾，香港，マレーシア，シンガポール，インドなどでは国をあげてこの分野の研究・教育はもちろんのこと産業の発展に力を注いでいる。残念なことに，我が国では産業の空洞化，研究の空洞化が進みつつあり，特に情報技術分野の研究・教育・産業は正念場を迎えているように思える。我が国の科学・技術の現状を踏まえて1995年11月15日に公布された“科学技術基本法”には，研究・開発に係る情報化の促進がうたわれている。この様な時期にあって，学会の果たすべき役割はきわめて重要である。とりわけ，情報技術分野の筆頭学会である情報処理学会の責任は重く，それなりの役目を果たさなければならない。監事として選出された暁には，このような観点から学会の活動を監督するつもりである。	増永 良文 (MASUNAGA, Yoshifumi) (大阪府大昭40卒)	図書館情報大学 図書館情報学部教授
理事	徳田 英幸 (TOKUDA, Hideyuki) (慶大昭50卒)	慶應義塾大学常任理事， 環境情報学部教授	1975年慶應義塾大学工学部卒業。1977年同大学院修士課程終了。1983年カナダ国ウォータールー大学計算機科学科博士課程終了（Ph.D. in Computer Science）。米国カーネギーメロン大学計算機科学科Senior Research Computer Scientist，慶應義塾大学環境情報学部助教授，教授を経て，1997年より現職。この間，KOCOS，Mininet，Shoshin，ArchOS，ARTS，Real-Time Machなどの分散システム，分散リアルタイムオペレーティングシステム，分散マルチメディアシステムなどの研究開発に従事。現在，本学会SIGOS主査。
	教育分野	[抱負] 本学会の持つ社会的な役割は，21世紀においてますます重要なものとなっていくと考える。今まで以上に急激に進化している情報処理技術と，その社会的インパクトに対応できるよう学会そのものが迅速に意思決定ができ，より柔軟な組織になることが大切である。これまで以上に，国内はもとより世界レベルでの貢献が期待されていると考える。特に，本学会を国際的に認められた学会にするためには，若手会員が活躍できる質の高い国際的なワークショップやシンポジウムを企画し，定着させたいと考えている。このような小さな研究交流の場からの「一点突破，全面展開」を通じて，論文誌，会誌，研究会，全国大会などの質的向上と学会のレベルアップへつなげればと考える。	

(次ページに教育分野続く)

役職名	候補者名（ローマ字） （出身校学部卒年）	勤務先および役職名 （平成10年1月現在）	略歴・専門分野等
理 教 育 分 野	富田 眞治 (TOMITA, Shinji) (京大昭43卒)	京都大学工学研究科教授	昭和43年京大工学部卒業。九大教授、京大工学部教授、平成8年より現職。VLIW方式などの先駆的プロセッサ研究を経て、超並列計算機を研究中。本学会論文賞受賞2回。計算機アーキテクチャ研究会主査（平成2～6年）、理事（平成7、8年）。
	<p>[抱負] 平成7年、8年度は本学会理事として、平成9年度は調査研究運営委員会委員として学会改革に、主として研究会・論文誌の活性化の立場から参画し、研究会論文誌の発行などに向けて一定の寄与ができたものと思う。情報処理の裾野が非常に広がった今日、情報処理学会はより広い立場から社会に貢献することが求められており、多様な価値観を吸収できる包容力がなければならない。「情報学会」などと名称変更する時期にあたっていよう。学会の第一義的な存在価値は研究者の独創的研究の鼓舞／支援にあるのは論を待たない。しかし、純粋アカデミズムに閉じこもった情報学研究は不毛であり、何のための研究なのか問い直さねばならない。産業界や社会との有機的な関連において情報学を捕らえて初めて、情報学研究は成立しよう。そのためには、多様な分野での多様な価値観を認め、さらにはより積極的に新しい価値を創造する学会とする必要がある。学会改革に引き続き微力を尽くせばと思っています。</p>		
	西尾章治郎 (NISHIO, Shojiro) (京大昭50卒)	大阪大学大学院 工学研究科教授	昭和55年3月京都大学大学院博士課程修了（工学博士）。京都大学工学部助手、大阪大学基礎工学部および情報処理教育センター助教授を経て、平成4年より現職。データベース、知識ベース、分散システムの研究・教育に従事。これまでに多くの国際会議の運営に携わるとともに、IEEE論文誌をはじめとする種々の学術誌編集委員を歴任。
	<p>[抱負] 21世紀の到来を間近に控え、マルチメディア情報産業の市場規模の大幅な拡大の成否が日本経済浮上の鍵を握っており、また、急速に加速しているグローバル化を強力に支援する基盤としての情報通信技術のさらなる発展の必要性が増しているとき、情報処理学会の果たす役割がますます重要になってきています。このような状況下で、「情報処理分野の発展のために、本学会が真にどのような貢献ができるか」という原点に戻って本学会の発展を真剣に考えたいと思っています。ともすればマンネリ化しつつあった学会の活性化を向上するために、いくつかの改革が提案・実施されてきましたが、それらを検討し推進することに貢献するとともに、特に会員の大半を占める企業の方々にとって産学の交流が図れるなど魅力的な学会にすること、また、若手研究者の育成を積極的に支援することを念頭に活動を展開していきたいと考えています。このような活動を通じて、会員が本会員たることに誇りを感じ、より積極的な学会活動への参加意欲が湧くようにしたいと思います。</p>		
根元 義章 (NEMOTO, Yoshiaki) (東北大昭43卒)	東北大学大学院 情報科学研究科教授	昭和43年東北大学工学部卒業、昭和48年同大学院博士課程修了、同年同大助手、昭和59年同大助教授、平成3年同大教授（大型計算機センター）、平成7年より現職。情報ネットワークシステム、手書き文字認識、画像処理に関する研究に従事。昭和58年IEEE Microwave Prize受賞。	
<p>[抱負] 昨今の情報環境は、多方面に未曾有の変革を与え、新たな情報流通社会が実現の道を歩み始めた。情報社会を支える学術研究の更なる進展や技術の高度化が熱望されているが、対象が、社会活動のすべてに亘り極めて広範であることから、これまでの枠組みにとらわれることなく、独創的な発想の誕生、育成を促し、そして応用への道を確立することが切望されている。また、的確な評価方法の確立も急務である。このような状況のもと、情報処理学会の果たす役割はますます大きくなっている。学術、技術の急激な進展に対応した、新鮮な情報の交換、オープン環境での研究活動の推進の支援、知識の普及、若手研究者・技術者の育成、国際化を、会員が会員のためにを合言葉に、既成概念にしばられず、さらに押し進めることが重要であると考え。結果として、情報社会を支える学会として、また、あらゆる会員にとって魅力ある学会へと成長を続ける。微力ながらその一端に貢献できれば幸いである。</p>			

(次ページに教育分野続く)

役職名	候補者名（ローマ字） （出身校学部卒年）	勤務先および役職名 （平成10年1月現在）	略歴・専門分野等
理 教 育 分 野	安田 浩 (YASUDA, Hiroshi) (東大昭42卒)	東京大学先端科学技術 研究センター教授	昭和47東大大学院博士課程修了，同年電電公社入社。1997年3月理事・情報研所長でNTT退職。同年4月東京大学教授，先端科学技術研究センター所属。工学博士。画像信号高能率符号化，画像信号処理，高速広帯域通信（B-ISDN）網／サービス，コンピュータ通信応用の研究。昭和53年米国カリフォルニア州ジェット推進研究所に客員研究員として1年間滞在。国際標準化活動に従事（ISO/IEC JTC1/SC29委員長。DAVICプレジデントなど）。平成7年度情報処理学会情報規格調査会標準化貢献賞，1995～1996年米国テレビジョンアカデミーエミー賞（技術開発部門），平成9年度情報処理学会情報規格調査会標準化功績賞など受賞。
	[抱負] 21世紀はネットワークの時代であり，情報処理・通信が社会／経済／国家の最重要基盤となる。その中にあって特にコンテンツ創作・流通は産業の中核となると考えられている。この分野で世界に先駆けるためには，ネットワーク時代への意識改革ならびに環境作りを主導することが必須である。情報処理学会はこの責務を担っており，学会の一員としてこの任務をはたすとともに，特に若い会員を組織してグローバルな活動によりコンテンツ創作・流通の技術基盤を確立するよう努力したい。特に，コンテンツにおける知的財産権問題は，学会自身の存続にもかかわる大きな問題であり，他学会に先んじて積極的に取組む体制を組みたい。同時にコンテンツ創作の基礎となる情報アーカイブについても，将来への布石作りを推進する。また放送／通信／コンピュータの融合時代への突入を意識し，融合にともなう技術変革を先取りする学会活動を推進してゆきたい。		
	吉澤 康文 (YOSHIZAWA, Yasufumi) (東工大昭42卒)	東京農工大学工学部教授	昭和42年東工大卒業。同年日立中央研究所入所。TSSの研究開発に従事。昭和48年システム開発研究所勤務。大形計算機用OSの性能向上，記憶管理の研究開発に従事。主管研究員を経て平成7年より現職。昭和47年本学会論文賞。
[抱負] 日本は電子立国としての確固たる地位を築いていかなければ現状の維持と発展は望めません。資源の少ない日本にとって，情報処理産業が重要な役割を果たさねばならないことは自明のことです。今，日本の情報産業は安心できる状況でしょうか。特に本学会が中心としているソフトウェアが世界に通用する産業となっているでしょうか。多分，多くの方は，日本のコンピュータ産業の危機を認識されていると思います。私は，約29年企業にてソフトの研究開発に従事してきましたが，危機感が高まるばかりです。いくつか理由があります。オリジナリティを尊重する風土に欠けている，産学の協体制度が弱い，などです。私は，本学会の研究会幹事・主査，論文誌編集委員，コンピュータサイエンス領域委員などをやらせていただきましたが，学会はリーダーシップをもってこれらの問題解決の使命があると思います。また，学会を支える多くの「産」の方々で学会で活躍できる仕組みを作り，本学会が「産・学」の良い出会いの場になり，相互に発展するよう努力します。最後に，本学会は情報処理の先端研究を推進する母体でなくてはなりません。このためにも，学会自身が御手本となるようなコンピュータの利用を推進するの必要を感じており，この面での改革にも努力します。			
理 製 造 分 野	大河内正明 (OKOCHI, Masaaki) (東大昭44卒)	日本アイ・ピー・エム（株） 東京基礎研究所 シニア・テクニカル・ スタッフ・メンバー （技術部長）	1969年東京大学工学部計数工学科卒業。1971年同大学院修士課程修了。同年日本アイ・ピー・エム（株）入社。以来，シミュレーション・ツール，かな漢字変換，情報検索，音声認識・合成などの研究開発に従事。現在，同社東京基礎研究所のシニア・テクニカル・スタッフ・メンバー（技術部長）およびナチュラル・コンピューティング・シニア・コンサルティング・プログラム・マネージャ。本学会音声言語情報処理研究会連絡委員，電子情報通信学会誌編集委員，日本シミュレーション学会理事，IBMアカデミー・オブ・テクノロジープ評議員などを歴任。日本音響学会技術開発賞受賞（96年）。
	[抱負] 情報化社会に向けて，インターネットの普及を背景とした情報インフラのグローバル化が急速に進み，エレクトロニクス・コマースなどの新しいサービスや，情報家電などの手軽で身近な情報機器も出現してきている。このように社会的影響力を増して変革を続ける情報処理分野において，その中核学会としての本学会への期待は，ますます大きくなってきている。その期待に応えられるよう，本学会をさらに魅力と活力のある学会にするため，特に次の3点に努力したい。 ・我が国の情報処理分野の中核学会として，国内外の関連学会との連携を深め，国際的に影響力のある活動を推進する。 ・情報処理技術分野の変革と底辺の拡大に応えられるよう，新しい分野の研究会活動を積極的に推進する。 ・インターネットによる学会情報の提供や最新技術の啓蒙など，学会自体の情報インフラのネットワーク化・グローバル化を積極的に推進する。		

(次ページに製造分野続く)

役職名	候補者名（ローマ字） （出身校学部卒年）	勤務先および役職名 （平成10年1月現在）	略歴・専門分野等
理 造 分 野	釜江 尚彦 (KAMAE, Takahiko) (京大昭36卒)	ヒューレット・パッカード 日本研究所所長	1961年京大電子工学科，1963年同修士課程卒業。1966年イリノイ大学大学院を修了し，Ph.D（電気工学）の学位を取得。1993年，26年間勤務したNTTを退社し，ヒューレット・パッカード日本研究所に勤務。現在所長。専門分野はマルチメディアを中心としたヒューマンインタフェース技術。
	<p>[抱負] いくつかの学会の役員をしているが，いずれも会員の数が飽和しないしは漸減傾向にある。これは従来型の学会運営に限界が来ていることを示唆しているように思われる。思いつくまま問題点を挙げる。</p> <p>1. 会員サービス：成果発表の場としての学会と新しい技術情報を提供する場としての学会をどうバランスするか。特に小さな組織に属する会員への情報提供にもっと力を注ぐことができないか。</p> <p>2. 会員の声：現在の学会の役員は大企業，大大学，首都圏在住者の代表に片寄りすぎているとの意見も少なくない。IEEE Communication Societyでは，北米以外から役員に当選する可能性を増すため，1人の枠に立候補者が北米から2人，それ以外から1人になるような指名を行い，北米からの票が2つに割れるようにしている。こういうやり方を参考に，多彩な会員の声が反映される仕組みを考える必要がある。</p> <p>3. 電子媒体の利用：インターネットでホットな情報が流れる現在，学会は印刷物に依存しすぎているか。本学会のような古い大きな学会では変革は容易ではないが，上の問題を少しでも解決するよう努力したい。</p>		
	上林 憲行 (KAMIBAYASHI, Noriyuki) (慶大昭50卒)	富士ゼロックス（株） 未来技術室主幹研究員	1980年慶應義塾大学理工学部大学院工学研究科博士課程修了（工学博士）。同年広島大学工学部助手，1982年富士ゼロックス（株）入社。現在，同社総合研究所シニアリサーチフェロー。その間，コンピュータアーキテクチャ，オブジェクトモデリング（Smalltalk-80）などの研究開発に従事，最近は，情報メディアアーキテクチャ，デジタルコンテンツの流通などの分野の研究開発およびその社会的，経済的影響について興味がある。学会関連活動としては人工知能学会理事，情報処理学会学会誌・論文誌編集員，情報メディア研究会幹事主査を歴任。慶應義塾大学SFC非常勤講師。
<p>[抱負] IT（情報技術）は21世紀型（知識集約）経済・文化の中核的な技術であり，知識集約型の研究・開発，独創的な人材育成が，頭脳立国の要となります。その意味で我が国で唯一のITコミュニティである情報処理学会への期待と責任は限りなく大きいと考えられます。一方で学会自体の存在意義が，デジタルネットワークに代表されるITの急速な社会的浸透によって逆に薄れてきていることは否めない事実であり，真に21世紀に向けてITの発展・興隆に貢献できる学会の存在意義の再構築が重要だと考えます。具体的には，価値観の多様化するそれぞれの会員が魅力的だと感じる会員サービス（電子投稿・出版・流通，発信）の充実，内容面では，ユニークで世界に発信可能な研究を発掘し創出す研究会活動の奨励・人材交流の場の提供，商業誌とは異なる高質で先見性のある学会誌の充実が重要だと考えます。時代を担う若い世代の声を代表した形で微力ながらお役に立ちたいと考えます。</p>			
河田 亨 (KAWATA, Toru) (阪大昭41卒)	シャープ（株）取締役技術 本部副本部長兼マルチ メディア事業化推進本部長	大阪大学大学院博士課程工学研究科電子工学専攻修了。昭和60年2月大阪大学工学部電子工学科助教授。昭和60年4月シャープ（株）入社，昭和62年1月同社技術本部コンピュータシステム研究所長，平成2年10月技術本部情報技術開発センター所長，平成3年4月技術本部副本部長，平成5年6月取締役技術本部副本部長，平成7年10月取締役技術本部副本部長兼情報技術統轄，平成9年9月取締役技術本部副本部長兼マルチメディア事業化推進本部長，現在に至る。研究としては論理回路の故障検査を皮きりに，COBOL，PASCAL，Cなどのコンパイラ設計論およびその開発，ならびにコンピュータグラフィックス用並列処理システムの研究開発に従事した。	
<p>[抱負] パソコンの高機能・高性能化と普及が同時進行する中で，“マルチメディア”に代表されるコンピュータ技術（デジタル技術）のあらゆる産業・社会生活への普及が始まっている。このようなハードの普及が促進される中，ソフトウェアの革新が極めて重要になってきた。社会が求める（目指す）新しいサービス・機能とユーザーと，システムのより自然な対話環境の創出に向け，産業界がフィールドワーク（市場でのユーザの活動状況の調査・分析・将来予測）を通じてソフトウェアモデルの原型を考察し，大学・研究機関の学術研究につなげ，また，学術研究で得られたモデルの実環境への適用を通して，モデルの改良，新モデルの創出につなげていく社会的使命を果たせるよう尽力したい。特に，産業活動，学術活動，社会活動の上記の意味の循環の中で，情報処理学会が世界のソフトウェア技術のリーダーとしての立場を維持できるような積極的に潤滑油の役目を果たしたい。</p>			

(次ページに製造分野続く)

役職名	候補者名（ローマ字） （出身校学部卒年）	勤務先および役職名 （平成10年1月現在）	略歴・専門分野等
理 造 分 野	小町 祐史 (KOMACHI, Yushi) (早大昭45卒)	松下電送 (株) 技術研究所副理事	昭和51年早大学大学院博士課程修了。東大生研助手を経て、昭和58年松下電送(株)入社。画像処理装置などの開発に従事。併行して文書処理および光ディスクなどの国際・国内標準化活動に参加。IEC TC100およびISO/IEC JTC1のプロジェクトエディタ。昭和59年電子通信学会論文賞。工博。
	[抱負] 本学会員を含む多くの先達のご尽力により、すでに私達は便利な情報環境を享受している。その結果、多様な情報の入手と発信とが容易になり、情報処理学会会員ならではの利点・特徴が必ずしも明確ではなくなっている。そこでまずは本学会の固有性を明確にし、そこに参加することによってさらに多くの“得るもの”を、各会員が容易にかつ身近に認め得るような活動の創生と推進に寄与したい。会員個人の“ありがたみ”への距離が大きいのと思われる、産業界への貢献、国際協調、学会に対する評価の向上などは、その活動の副産物として位置付けたい。		
	宮西洋太郎 (MIYANISHI, Yohtarō) (神戸大昭41卒)	三菱電機 (株) 情報システム製作所 主管技師長	昭和18年生。昭和43年神戸大大学院電気工学専攻修了。昭和43年三菱電機入社、各種工業応用システムのSE業務などに従事。在職中、平成9年静岡大大学院電子応用工学専攻修了、工学博士。企業間情報共有方式に興味。
[抱負] 情報システムの総コスト低減や開発期間短縮のために、最近の情報技術は、集中型からC/S分散型、さらにネットワーク計算型へ、注文生産による構築から既製品の集積へ、手続き型からオブジェクト指向型へ、インターネット活企業通信網の構築、と急速に進歩している。これらを背景とし、 1. 学会員と学会の関係の強化：情報技術は産業に使用されて、その価値を発揮するが、産業界技術者は最近の情報技術に追従するのに多くの労力を要している。本学会員に対して、情報技術動向に関する正確な知識を効率よく親しみやすく提供することが本学会に期待される。また、学会から会員への一方的な情報ではなく、会員から学会への意見を収集する仕組みも必要である。これらにつき微力ながら貢献したい。 2. 学界と産業界との関係の強化：従来の全国大会などの学問的な会議に加えて、産業界と共催する会議などの実現性について検討したい。			
理 他 利 用 分 野	江原 暉将 (EHARA, Terumasa) (早大昭42卒)	日本放送協会放送技術 研究所マルチメディア サービス主任研究員	昭和42年早稲田大学理工学部卒業。NHK入局。番組制作の現場を経て、放送技術研究所に勤務。工博。自然言語処理、統合デジタル放送などの研究に従事。その間ATR自動翻訳電話研究所に向向。会誌元編集委員（アプリケーション分野主査）、論文誌査読委員。
	[抱負] 情報処理技術がハードからソフトへ、ソフトからコンテンツへ向かおうとしている。当選の暁には、放送というコンテンツを扱う企業での経験を生かして、特に以下の3点に力を入れたい。(1) これまでの学会活動には、情報内容そのもの（コンテンツ）に係わる者の視点が不足していた。著作権問題やデータベース（アーキテクチャーのみでなくコンテンツも含めて）など、情報内容そのものに関係する活動を拡大する。(2) 学会内での情報流通を大幅に電子化し、学会から発信される情報内容の充実を図る。「さすが情報処理学会」と言わせるような情報提供のしくみと情報内容を作り上げる。(3) 情報内容が文化に依存することはいうまでもないが、情報内容に密接に係わる情報処理技術も文化に依存する。日本文化に根ざした学会活動を掘り起こし、その結果として、日本としての独自性のある情報処理技術の発展を促す。		
	大蒔 和仁 (OHMAKI, Kazuhito) (岩手大昭49卒)	通商産業省工業技術院 電子技術総合研究所 情報アーキテクチャ部部长	昭和54年東北大大学院博士課程修了。同年電総研入所。平成4年情報ベース研究室長。平成7年企画室長。平成9年情報アーキテクチャ部長。現在に至る。平成2～6年当学会ソフトウェア工学研究会幹事。平成2～7年(財)情報処理相互運用技術協会(INTAP)プロトコル形式記述ワーキンググループ委員長。平成4～7年ISO IEC/JTC1/SC21/WG8/CCR LOTOS Project Editor。平成6～7年電子情報通信学会情報・システムグループ運営委員会企画担当幹事。平成7年～日本ソフトウェア学会理事。この間ソフトウェア工学、並行プロセス代数、形式的仕様記述などの研究に従事。
[抱負] 平成7年の科学技術基本法の制定や昨今の行革会議における科学技術政策論議によれば、国立研究所や大学のあり方が今まで通りではあり得ず2000年までには変革を余儀なくされる。そして産業界との関わり方、すなわち科学技術研究の分担と協調について真剣に議論しなければならない時がきている。特に情報技術は21世紀においても重要な技術であり続けることは明らかであり、当学会の果たす役割も、単にアカデミックな研究の牽引力となるだけでなく、産・学・官の実質的な接着剤（glue）の役割を果たすべく重要な役割を従来にも増して帯びていると考えている。私は、平成9年5月までの年間、科学技術基本法やそれに続く科学技術基本計画に関して国研としての発言を求められる際に、電総研の企画室長として所長を補佐する仕事を行ってきた。この経験を生かして今日の科学技術政策の激動の時期において当学会の特にglueとしての役割について貢献させていただきたい。			

(次ページに製造分野続く)

役職名	候補者名（ローマ字） （出身校学部卒年）	勤務先および役職名 （平成10年1月現在）	略歴・専門分野等	
理事	他 利用 分野	岡本 吉晴 (OKAMOTO, Yoshiharu) (東大昭44卒)	(株) 三菱総合研究所 取締役情報技術 研究センター長	1946年生。1969年東京大学工学部計数工学科卒業。1971年同大学院工学系研究科修了。同年4月(株)三菱総合研究所入社。現在、同社取締役情報技術研究センター長。専門分野は、OR、数理計画法、ソフトウェア工学。
		[抱負] すでに数年前より日米のソフトウェアギャップが認識され、その危機感からいろいろな所でそのためのポリシーが議論されております。特に、PCのプラットフォーム（CPU、OSなど）を巡る情報技術分野のデファクトスタンダードは、完全に米国に握られている現状であります。今後、オープン化・ネットワーク化を軸に急速に発展していくソフトウェア市場に対し、我が国の情報産業がグローバルにポジションを得ていくためには、米国のキャッチアップのみを指向するのではなく、我が国からグローバルな市場に積極的にアピールできる分野を築いていく必要があります。このためには、我が国が有する技術的ポテンシャルや産業特性を生かしたソフトウェア技術の育成についてのグランドデザインを構築することが重要であると考えています。このような問題意識のもとに学会活動にも貢献したいと考えております。		
		工藤 育男 (KUDO, Ikuo) (早大昭58卒)	(株) ジャストシステム 東京研究所	1957年生。1983年早稲田大学理工学部電工卒業。1985年同大学院修士修了。博士（工学）。CSK、ART自動翻訳研究所、テキサスインスツルメンツを経て、ジャストシステム。自然言語、音声認識、CAI、知的財産に興味を持つ。
		[抱負] 学会改革の議論の中で、緊急かつ重要な「電子化への対応」の問題がまだ十分に議論されていない。学会だけが時代から取り残されているのが実態である。学会のホームページにはほとんどアクセスがなく、メーリングリストすらない。学会誌に載せた方がいい情報、電子メールで配布した方がいい情報、ホームページに載せた方がいい情報があるはずである。電子メールの発信者に制限をつけることはできるし、また、電子メールによる役員選挙の実施も夢ではない。予算の問題が障害だというのが、外部にリソースを借りることはできるはずである。掛ける価値のあるコストとそうでないコストを点検する時期にきているのではなからうか？ また、ホームページを学会誌なみのメディアにするためには、編集委員会を新設する必要がある。電子化の進展に伴う諸問題（著作権や特許関連の問題、選挙における本人確認の問題など）について、きちんとした議論を行えるようにしたい。		

[参考]

平成10年度留任役員名簿

役員名	氏名	勤務先
会長	戸田 巖	富士通研
副会長	堀 越 彌	日立情報システムズ
監事	林 弘	富士通研
理事	片岡 雅 憲	日立
理事	剣 重 壽 和	鉄道情報システム
理事	坂 井 邦 夫	東芝
理事	阪 田 史 郎	NEC
理事	鈴 木 健 二	KDD
理事	東 田 正 信	NTT
理事	水 野 忠 則	静岡大
理事	宮 原 秀 夫	阪大

退任役員名簿

役員名	氏名	勤務先
副会長	高 橋 延 匡	拓殖大
監事	千 葉 常 世	日立
理事	片 岡 信 弘	三菱
理事	上 林 彌 彦	京大
理事	白 鳥 則 郎	東北大
理事	杉 本 和 敏	日本IBM
理事	杉 山 公 造	北陸先端大
理事	諏 訪 基	電総研
理事	藤 林 信 也	NEC情報システムズ
理事	牧之内 顕 文	九大
理事	村 上 憲 也	NTTデータ

IPSJカレンダー

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
第24回音楽情報科学研究会	NTT厚木研究 センタ	2月19日 (木) ～20日 (金)	当日のみ		39-1 会4p	研
第77回システムソフトウェアと オペレーティング・システム研究会	北陸先端大	2月26日 (木) ～27日 (金)	当日のみ		39-1 会5p	研
第87回マルチメディア通信と 分散処理研究会	北陸先端大	2月26日 (木) ～27日 (金)	当日のみ		39-1 会5p	研
第89回グラフィクスとCAD研究会	情報処理学会	2月27日 (金)	当日のみ		39-1 会6p	研
インタラクシオン '98	東大	3月 3日 (火) ～4日 (水)	2月20日 (金)		39-2 会18p	研
第2回ワールドワイドコンピューティ ング国際会議 (WWCA '98)	筑波第一ホテル	3月 4日 (水) ～5日 (木)			39-2 本175p	国
第27回グループウェア研究会	情報処理学会	3月 5日 (木)	当日のみ		39-2 会11p	研
第120回計算機アーキテクチャ研究会	札幌エレクトロ ニクスセンタ	3月 5日 (木) ～6日 (金)	当日のみ		39-2 会11p	研
第70回ハイパフォーマンス コンピューティング研究会	札幌エレクトロ ニクスセンタ	3月 5日 (木) ～6日 (金)	当日のみ		39-2 会11p	研
東海支部 講習会	名工大	3月 6日 (金)			39-1 会14p	海
第20回オーディオビジュアル 複合情報処理研究会	同志社大	3月 6日 (金)	当日のみ		39-2 会12p	研
第118回ソフトウェア工学研究会	情報処理学会	3月10日 (火) ～11日 (水)	当日のみ		39-2 会12p	研
設計教育者のためのVHDL講習会	阪大	3月11日 (水) ～13日 (金)	定員になり次第		38-12 23p	研
第124回自然言語処理研究会	阪大	3月12日 (木) ～13日 (金)	当日のみ		39-2 会13p	研
第77回ヒューマンインタフェース 研究会	ソニー	3月13日 (金)	当日のみ		39-2 会13p	研
第11回デジタル・ドキュメント研究会	情報処理学会	3月13日 (金)	当日のみ		39-2 会13p	研
北陸支部 講演会	富山商船高専	3月14日 (土)			39-2 会22p	陸
北陸支部 平成9年度北陸地区学生に よる研究発表会	富山商船高専	3月14日 (土)			38-12 28p	陸
第111回知能と複雑系研究会	情報処理学会	3月16日 (月)	当日のみ		39-2 会14p	研
設計教育者のためのVHDL講習会	東大	3月16日 (月) ～18日 (水)	定員になり次第		38-12 23p	研
第67回情報システム研究会	東京工科大	3月17日 (火)	当日のみ		39-2 会14p	研
情報処理学会第56回全国大会	中大理工学部	3月17日 (火) ～19日 (木)			39-2 全大	事
第110回コンピュータビジョンと イメージメディア研究会	川崎市産業振興 会館	3月19日 (木)	当日のみ		39-2 会14p	研
第18回数値モデル化と問題解決 研究会	電通大	3月20日 (金)	当日のみ		39-2 会14p	研
第61回アルゴリズム研究会	東芝	3月20日 (金)	当日のみ		39-2 会15p	研
第47回コンピュータと教育研究会	情報処理学会	3月20日 (金)	当日のみ		39-2 会15p	研
第18回プログラミング研究会	電通大	3月23日 (月) ～24日 (火)	当日のみ		39-2 会15p	研
連続セミナー97 データウェアハウス	工学院大	3月24日 (火)	定員になり次第		38-11 15p	事
アルゴリズム特許の現状と問題点 シンポジウム	東京農工大	3月24日 (火)			38-10 24p	研
The IEEE Third International Conference on Automatic Face and Gesture Recognition (FG '98)	Big Roof (奈良)	4月14日 (火) ～16日 (木)			38-8 21p	研
9th Int'l Workshop on Software Specification and Design (IWSSD-9)	伊勢志摩ロイヤル ホテル	4月16日 (木) ～18日 (土)			38-10 25p	研
第20回ソフトウェア工学国際会議 (ICSE '98)	京都国際会館	4月19日 (日) ～25日 (土)			39-2 本176p	国
Int'l Workshop on Aspect-Oriented Programming		4月20日 (月)			38-10 25p	研
Software Engineering on Parallel and Distributed Systems (PDSE '98)		4月20日 (月) ～21日 (火)			38-10 25p	研

行事名	会場名	開催日	参加締切	論文/応募締切	掲載頁	担当
Int'l Symposium on Object-oriented Real-time Distributed Computing (ISORC '98)		4月20日 (月) ~22日 (水)			38-10 25p	研
第40回通常総会		5月20日 (水)				総
1998年並列処理シンポジウムJSP '98	名古屋国際会議場	6月 3日 (水) ~5日 (金)			38-10 26p	研
グラフィクスとCADシンポジウム	早大	6月12日 (金) ~13日 (土)		3月 6日 (金)	39-2 会19p	研
マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO '98) シンポジウム	指宿岩崎ホテル	7月 8日 (水) ~10日 (金)		3月13日 (金)	39-1 会9p	研
Asia Pacific Computer Human Interaction 1998 (APCHI '98)	Shonan Village Center	7月15日 (水) ~17日 (金)		1月31日 (土)	38-9 29p	国
DAシンポジウム '98	遠鉄エンパイアホテル	7月16日 (木) ~18日 (土)		3月11日 (水)	39-1 会10p	研
画像の認識・理解シンポジウム (MIRU '98)	岐阜市未来会館	7月29日 (水) ~31日 (金)		1月17日 (土)	38-11 27p	研
オブジェクト指向 '98シンポジウム	東京都内	9月16日 (水) ~18日 (金)		4月10日 (金)	39-1 会10p	研
論文誌特集号 「分散協調支援とその応用」				2月28日 (土)	38-10 27p	編
平成10年度役員選挙投票				3月 2日 (月)	39-2 会2p	総
論文誌特集号 「マルチメディア通信と分散処理」				5月 1日 (金)	38-11 28p	編
論文誌特集号 「ヒューマンインタフェースとインタラクション」				5月29日 (金)	38-12 24p	編
論文誌特集号 「人文科学とコンピュータ」				8月31日 (月)	39-1 会11p	編

注1) カレンダーは本会主催・共催の行事を会告既掲載分より抜粋しています。

注2) 研究会の発表申込締切は開催日の90日前です。年間予定表および研究会発表申込書は2, 4, 8月号付録(会告)に掲載されています。

注3) 担当欄の記号は次のとおりです。研: 研究会係, 事: 事業係, 国: 国際係, 編: 編集係, 総: 総務係, 経: 経理係, 会: 会員係, 規: 情報規格調査会, 北: 北海道支部, 東: 東北支部, 海: 東海支部, 陸: 北陸支部, 西: 関西支部, 中: 中国支部, 四: 四国支部, 九: 九州支部。各行事についての問合せ等は担当係までお願いします。

注4) 掲載頁欄の記号は次のとおりです。本: 本誌, 会: 会告(付録), 全大: 全国大会プログラム(付録)

研究発表会開催通知

(平成10年3月5日～3月24日)

◆第27回 グループウェア研究会 (発表件数: 8件)

(主査: 岡田謙一, 幹事: 桑名栄二, 星 徹, 宗森 純)

日時 平成10年3月5日(木) 10:00～16:50

会場 情報処理学会 会議室(芝浦)

[東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F. JR: 田町(東口)下車, 徒歩7分. または地下鉄(浅草線, 三田線): 三田下車, 徒歩10分. Tel(03)5484-3535]

議題

[10:00～12:00]

- 1) インターワークフロー: 複数組織間のワークフロー相互連携システム 平松恵子(慶大)
- 2) 多地点遠隔会議システムにおけるシームレスな協同描画空間の構築 才野 真, 栗原主計, 井上祐子 岡田謙一, 松下 温(慶大)
- 3) 知識情報共有システムにおけるノウハウ共有の促進 福井美佳, 笹氣光一, 芝崎靖代 大嶽能久, 中山康子(東芝)

[13:00～16:50]

- 4) アイスバグ解析を指向したユーザ要求ベースの構築 山上俊彦(NTT)
- 5) 発想一貫支援グループウェア郡元の研究指導への適用 由井園隆也(鹿児島大), 宗森 純(阪大) 長澤庸二(鹿児島大)
- 6) ソフトウェア中間成果物の伝達における不安定要因の評価法 鍋島章子, 村越広享, 落水浩一郎(北陸先端大)
- 7) CSとCWの統合に関する考察—CSからCWへ, そしてまたCSへ— 垂水浩幸(京大)
- 8) A role-based approach to modelling security requirements in groupware Violeta Tuiu, Hiroyuki Tarumi Yahiko Kambayashi(Kyoto University)

[合同研究会]

◆第120回 計算機アーキテクチャ研究会

◆第70回 ハイパフォーマンスコンピューティング研究会 (発表件数: 23件)

ARC(主査: 中島 浩, 幹事: 木村康則, 関口智嗣, 宮田裕行)
HPC(主査: 野寺 隆, 幹事: 佐藤三久, 寒川 光, 朴 泰祐)

日時 平成10年3月5日(木) 10:00～17:30
6日(金) 10:00～17:00

会場 (財)札幌エレクトロニクスセンタ プレゼンテーションルーム

[札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1-10. JR新札幌駅から, JRバス(20番テクノパーク行): テクノパーク前下車, または市営バス(白28もみじ台団地行): テクノパーク入口下車, 徒歩3分. タクシーでは約10分. Tel(011)807-6000. URL—<http://www.sec.or.jp>]

議題 第4回「ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価」に関する北海道ワークショップ(HOKKE-98)—計算機クラスタ技術の性能評価—

3月5日(木)

[10:00～12:00] ●アプリケーションと性能評価

- 1) 多倍長演算パッケージMPPACKの高速化 平山 弘(神奈川工科大)
- 2) 階層格子ボリュームデータの実時間可視化 藤原雅宏, 五島正裕, 森真一郎, 富田真治(京大)
- 3) 二次元FFTの並列処理手法の検討 水野政治, 宮田裕行(三菱電機)

- 4) 通信ブロックの軽減を考慮した大規模行列における分散処理システム的设计 松村博光, 大鎌 広, 藤原祥隆(北見工大)

[13:15～15:15] ●クラスタコンピューティング1

- 5) RWC PC Cluster IIの構築と性能評価 手塚宏史, 堀 敦史(RWCP) Francis O'Carroll(システム21), 石川 裕(RWCP)
- 6) 並列タンパク質情報解析(PAPIA)システムのPCクラスタ上での実現 秋山 泰, 鬼塚健太郎, 野口 保 安藤 誠, 斎藤 稔(RWCP)
- 7) ATM結合型大規模PCクラスタにおける並列データマイニングとTCP再送機構の解析 小口正人, 新谷隆彦, 田村孝之, 喜連川優(東大)
- 8) クラスタ型並列計算機におけるImplicit Co-schedulingの性能評価 福地健太郎, 松岡 聡(東工大) 堀 敦史, 石川 裕(RWCP)

[15:30～17:30] ●クラスタコンピューティング2

- 9) SMPクラスタCOMPaaSの性能評価 田中良夫, 松田元彦, 佐藤三久(RWCP)
- 10) 「PPRAM-Link API on Linux」の開発, ならびに, そのPCクラスタ上での性能評価 目次勝彦, 大澤 拓, 村上和彰(九大)
- 11) アルファワークステーションのクラスタetlwizの性能評価 益口摩紀, 長嶋雲兵(お茶の水女子大)
- 12) ワークステーションクラスタのための通信/同期コントロール 関口智嗣, 建部修見(電総研), 佐藤三久(RWCP) 早川 潔, 関口智嗣(電総研)

3月6日(金)

[10:00～11:30] ●性能評価環境

- 13) 離散事象並列シミュレーションにおける動的負荷均等化 根本貴由, 西 昌吾, 三橋 純, 成田誠之助(早大)
- 14) FPGAを用いたマルチプロセッサシステムテストベッドの実装 尾形 航(早大), 山本泰平, 水尾 学(写真化学) 木村啓二, 笠原博徳(早大)
- 15) クラスタ環境における通信性能を考慮したプロファイリング方式 金山二郎, 飯塚 肇(成蹊大)

[12:45～14:45] ●メモリアーキテクチャとクラスタ

- 16) マルチグレインDSMをサポートするWSクラスタJUMP-1/3 中條拓伯(神戸大), 小野 航(慶大) 市川明弘(神戸大), 安生健一郎, 天野英晴(慶大) 金田悠紀夫(神戸大)
- 17) 計算機クラスタにおけるユーザレベルソフトウェア分散共有メモリの性能評価 緑川博子, 飯塚 肇(成蹊大)
- 18) 軽量メモリベース通信のためのネットワークインタフェース 周東福強(慶大), 山本淳二(RWCP) 西 宏章, 天野英晴(慶大), 工藤知宏(RWCP)
- 19) ディレクトリキャッシュを付加した通信機構による仮想共有メモリの支援 滝田 裕, 田中英彦(東大)

[15:00～17:00] ●コンパイラと性能評価

- 20) 非均質計算環境向け並列化コンパイラhetero-TINPAR—動的負荷分散方式の改良と評価— 田中慎司(京大), 後藤慎也(住友電気工業) 窪田昌史, 五島正裕, 森真一郎, 富田真治(京大)
- 21) ソフトウェアを援用した投機的例外処理機構の実現と評価

- 古関 聰, 影井慶大, 仲 顕照 (早大)
小松秀昭 (日本IBM), 深澤良彰 (早大)
- (22) 制御等価を利用したスレッド分割技法
岩田充晃, 小林良太郎, 安藤秀樹, 島田俊夫 (名大)
- (23) Doacrossループのsandglass型並列化手法の有効性について
高島志泰, 本多弘樹, 弓場敏嗣 (電通大)
- * (財) 札幌エレクトロニクスセンタ協賛。

◆第20回 オーディオビジュアル複合情報処理研究会

(発表件数: 6件)

- (主査: 一之瀬進, 幹事: 児玉 明, 小谷野浩, 松本修一)
- 日 時 平成10年3月6日 (金) 13:00~17:20
- 会 場 同志社大学 田辺校舎 知真館1-121 (TC1-121)
[田辺市多々羅都谷1-3. JR (学研都市線): 同志社前下車,
徒歩10分. Tel (0774) 65-7010. URL - http://www.doshisha.ac.jp/html/campus/trans-map1.html]
- 議 題 テーマ: ビジュアル通信の新しい流れ 一低ビットレート画像符号化, およびマルチメディア一般
- (1) 処理量可変アルゴリズムによるリアルタイムソフトエンコーダの検討
大迫史典, 正満峰夫, 石橋 聡, 小林直樹 (NTT)
- (2) MC-DCT画像符号化方式の極低ビットレートへの適用可能性に関する一検討
宮地悟史, 松本修一 (KDD)
- (3) NEWPREDにおける受信側主体の参照画像変更方法
木全英明, 富田靖浩, 山口博幸, 一之瀬進 (NTT)
- (4) サイズ変換を有する画像トランスコーディングの検討
笠井裕之, 西村 敏, 児玉 明, 富永英義 (早大)
- (5) MPP論文システムにおける論文参照機能に関する検討
高屋和幸, 西村 敏, 笠井裕之, 児玉 明, 富永英義 (早大)
- (6) 独立管理メディアの同期再生制御方式の提案と報告
小野 朗 (NTT)

○特別寄稿

- ・DAVICの検討状況と予定 (2) 笠原久嗣 (NTT)
- ・マルチメディア符号化の標準化動向 (SC29検討状況)
渡辺 裕 (NTT)
- ・デジタル放送技術の展望 吉田 昇 (郵政省)
- * 電子情報通信学会 (画像工学研究会), IEEE東京支部 (BTグループ) 協賛

◆第118回 ソフトウェア工学研究会 (発表件数: 25件)

- (主査: 玉井哲雄, 幹事: 上原三八, 岸 知二, 佐伯元司)
- 日 時 平成10年3月10日 (火) 9:00~17:40
11日 (水) 9:00~17:45
- 会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)
- 議 題
- 3月10日 (火)
- [9:00~10:00] ●ネットワーク, 教育
- (1) “暗室ネットワーク”の構築とその効果
一條 博, 島田一雄 (ケンウッド)
- (2) CRC法によるオブジェクト指向概念教育
高橋富夫 (富士通)
- [10:10~11:10] ●自然語とプログラム
- (3) オブジェクト指向日本語一貫プログラミング環境
加藤木和夫 (日立プロセスコンピュータ)
島山正行 (茨城大)
- (4) 命題文における言い廻しの違いの体系化
佐藤匡正 (島根大)

[11:20~12:20] ●開発プロセス

- (5) IDEFを用いたスケジューリングシステム開発プロセスのモデル化
阿部昭博 (松下電器/東大), 玉井哲雄 (東大)
- (6) 未来デルタ機構による楽観的共有情報管理法の提案
堀 雅和 (北陸先端大/インテック)
篠田陽一, 落水浩一郎 (北陸先端大)

[13:20~14:50] ●コンポーネント

- (7) RDB処理分散コンポーネント・フレームワーク
北島重信, 萬木優子, 原田道明, 小泉寿男 (三菱電機)
白鳥則郎 (東北大)
- (8) 次世代ソフトウェアCALIS基盤における部品組立て型ソフトウェア開発技術の実証
佐藤義男 (日本DEC), 青山幹雄 (新潟工科大)
山下利夫 (日本総研), 村山一美 (日本ユニシス)
高原 清 (日立), 安竹由起夫 (日本DEC)
- (9) コンポーネントブローカのアーキテクチャと試作
青山幹雄 (新潟工科大), 山下利夫, 小堀慎介 (日本総研)
柳正 栄 (柏崎情報開発センター)

[15:00~16:30] ●モデリング・設計支援 (1)

- (10) オブジェクト指向モデリング方法論「BOAD法」
妻木俊彦, 岩田裕道, 森澤好臣 (日本ユニシス)
- (11) 事象トレース付きデータフロー図を用いたシステム記述法についての一考察
葛山善基 (滋賀大)
- (12) 画面遷移を中心にしたUI設計手法の提案
藤巻 昇, 上野 篤, 岡安二郎 (東芝)

[16:40~17:40] ●モデリング・設計支援 (2)

- (13) メタ階層モデル記述言語Brambleのポータビリティの実現
庄司龍一, 中野喜之, 上田賀一 (茨城大)
- (14) メタ階層モデル記述言語Brambleの分散オブジェクト環境への対応
藤田充典, 小飼 敬, 上田賀一 (茨城大)

3月11日 (水)

[9:00~10:30] ●メトリクス, 試験

- (15) C++を対象としたオブジェクト指向メトリクスの検討
直田繁樹, 中島 哲, 堀田勇次 (富士通研)
- (16) ソフトウェア機能試験手順の状態遷移表に基づいた生成法
山中 弘, 中島 毅, 別所雄三 (三菱電機)
広田和洋 (三菱セミコンダクタシステム)
- (17) 残存フォールト数の推定が可能なソフトウェア試験方法について (3)
若杉忠男 (若杉情報技術コンサルタントオフィス)

[10:40~11:40] ●形式的手法

- (18) オブジェクト指向方法論のための形式的モデルの検証
石田 至, 青木利晃, 片山卓也 (北陸先端大)
- (19) 形式的オブジェクト指向分析モデルFOVOMの構築法とその支援環境
古川順一, 青木利晃, 片山卓也 (北陸先端大)

[12:40~13:40] ●クリーンルーム手法・チュートリアル

- (20) ソフトウェア開発クリーンルーム手法の方法論
西橋幹俊 (日本IBM)

[13:50~14:50] ●クリーンルーム手法 (1)

- (21) クリーンルーム手法の味見
谷津弘一, 染谷 誠 (日本ユニシス)
- (22) オブジェクト指向設計におけるクリーンルーム手法
友納正裕 (NEC)

[15:00~16:00] ●クリーンルーム手法 (2)

- (23) 並行動作の統計的テスト法に関する一考察
古川善吾, 川野朋彦, 伊東栄典 (九大)
- (24) 開発プロジェクトにおける段階的技術導入手法: CRM手法とOO開発法の開発プラン
本吉由紀夫 (日立電子サービス)

[16:15~17:45] ●クリーンルーム手法・パネル討論

(25)精密ソフトウェア工学のすすめ 司会：大槻 繁 (日立)
パネリスト：玉井哲雄 (東大), 大蒔和仁 (電総研)
金藤栄孝 (日立)

◆第124回 自然言語処理研究会 (発表件数：15件)

(主査：新田義彦, 幹事：田中裕一, 丹羽芳樹, 久光 徹)
日 時 平成10年3月12日 (木) 13:30~16:30
13日 (金) 9:30~16:45

会 場 大阪大学 (豊中キャンパス) 言語文化研究科棟
2F 大会議室

[豊中市待兼山1-1. 阪急梅田 (宝塚線) : 蛍ガ池下車, モノ
レール : 柴原下車, 徒歩10分 (正門経由). または阪急
(宝塚線) : 石橋下車, 徒歩16分 (石橋門経由). または大
阪空港からモノレール : 柴原下車. Tel(06)850-5889 (成田
一)]

議 題

3月12日 (木)

[13:30~14:30] ●法律文解析

- (1) 法律条文のデータ構造 田中規久雄 (阪大)
- (2) 要件効果構造に基づく制限言語モデルを用いた法律文解析
ー並列構造の推定方法についてー 高尾宜之, 平松寛司
永井秀利, 中村貞吾, 野村浩郷 (九工大)

[15:00~16:30] ●文構造解析, 他

- (3) 主題間の関係を用いた文脈構造ネットワークの構築
吉田悦子, 横山晶一, 西原典孝 (山形大)
- (4) 動詞述語の抽出による中国語文の構造解析
呉 志剛, 横山晶一, 于 素秋 (山形大)
- (5) 中国の自然言語処理について
田中康仁 (兵庫大), 北 研二 (徳島大)

3月13日 (金)

[9:30~11:45] ●形態素, 意味解析

- (6) 誤り駆動型の確率モデル学習による日本語形態素解析
北内 啓, 宇津呂武仁, 松本裕治 (奈良先端大)
- (7) 格子モデルによるbi-gramからのtri-gram推定を用いた
HMM形態素解析システム
木村 健, 藤本浩司, 乾 伸雄, 小谷善行 (農工大)
- (8) 係り受け関係と相互情報量を用いた単語の意味獲得
前川篤志, 伊藤毅志, 古郡廷治 (電通大)
- (9) 複合語判定を優先させた決定リストによる同音異義語判定
新納浩幸 (茨城大)

[13:15~15:15] ●検索, 情報抽出

- (10) 感性語とカラーパターン対応テーブルを用いた画像の感性
検索 木本晴夫 (NTT)
- (11) 手指動作特徴系列を用いた手話単語の類似検索システム
安達久博 (宇都宮大)
- (12) 分野を特定した自動収集によるWWW情報検索
来住伸子 (津田塾大)
- (13) トップダウンなパターン解析に基づく情報抽出
西野文人, 落谷 亮 (富士通研), 木田敦子
乾 裕子 (計量計画研), 桑畑和佳子, 橋本三奈子 (富士通)

[15:45~16:45] ●対話インタフェース

- (14) 情報検索の自然言語インタフェースにおける対話管理の枠
組み 高野敦子 (兵庫大), 平井 誠 (松下電器)
北橋忠宏 (阪大)
- (15) 発想支援対話における協調的応答のための発話プランニン
グモデル 寺部滋郎, 佐川雄二, 渡邊豊英 (名大)

◆第77回 ヒューマンインタフェース研究会

(発表件数：17件)

(主査：竹林洋一, 幹事：中内 靖, 浜田 洋, 山本吉伸)

日 時 平成10年3月13日 (金) 9:30~18:00

会 場 ソニー ヒューマンインターフェースラボ

[東京都品川区北品川4-7-35 御殿山ヒルズ12F. JR, 京浜急
行: 品川 (高輪口) 下車, 徒歩10分. または京浜急行: 北
品川下車, 徒歩5分. Tel(03)5448-5233]

議 題 小特集: バリアフリーインタフェース, および一般
[9:30~11:35] ●一般

- (1) インターネット広告露出における時間的要素の影響に関す
る研究 岸 晃司, 坂本 啓, 坂本泰久 (NTT)
- (2) WWWドキュメント検索におけるドメイン名クラスタリン
グの利用 島村 栄, 高野 元 (NEC)
- (3) 『情報地図』による情報獲得の支援に関する研究
川瀬宏一郎, 篠田陽一, 落水浩一郎 (北陸先端大)
- (4) インタラクション設計記法TIDを用いた分析法の検討
石山啓太郎, 徳田佳一 (東北大)
鈴木主真, 田中 康 (ソニー)
李 殷碩 (韓国成均館大), 白鳥則郎 (東北大)
- (5) タスク指向インタラクション設計に基づくUIアーキテクチ
ャ設計法の検討 伊澤謙一, 徳田佳一 (東北大)
村松成治, 田中 康 (ソニー)
李 殷碩 (韓国成均館大), 白鳥則郎 (東北大)

[12:30~14:10] ●一般

- (6) 「リアルビジョン」方式による疑似立体視効果の評価 (第
1報) 山下樹里, 持丸正明, 山内康司, 福井幸男 (生命研)
横山和則 (土浦協同病院)
- (7) デジタルモザイク処理を用いた画像入力機器のUI評価に
基づく改良 中尾敏康, 柏谷 篤, 兼吉昭雄 (NEC)
- (8) 話者認証を用いたX-Window施錠システムxvlock開発とそ
の評価 山下昌毅, 杉山雅英 (会津大)
- (9) テンキーによる日本語入力ー50音配列を実現ー
小野勝康 (日本NCR)

[14:20~16:10] ●小特集: バリアフリーインタフェース

- (10) 特別講演: 視覚障害者からHI研究に期待すること
浅井 淳
- (11) 非視覚的Webアクセスシステムの研究
浅川智恵子 (日本IBM)
- (12) 視覚障害者用グラフ表示システム
海老名毅, 猪木誠二 (通信総研)
三宅輝久, 高橋寛子 (筑波技術短大)
- (13) 視覚障害者用パーソナルOCRシステムの設計
小場久雄, 下平 博, 木村正行 (北陸先端大)

[16:20~18:00] ●小特集: バリアフリーインタフェース

- (14) 盲人の空間認知に関する実験的考察 野 進 (名大)
皆川洋喜 (筑波技術短大), 大西 昇 (名大)
- (15) 動作プリミティブに基づいた手話アニメーション生成シス
テムの開発と評価 坂戸博之 (CSK)
呂 山, 猪木誠二 (通信総研)
- (16) 公共トイレにおけるバリアフリー化: サインをめぐる
市川文子, 安村通晃 (慶大)
- (17) ロービジョンのためのユーザー・インタフェースを考え
るー拡大表示と音声の併用ー
岡田伸一 (障害者職業総合センター)

◆第11回 デジタル・ドキュメント研究会

(発表件数：3件)

(主査：山田尚勇, 幹事：絹川博之, 空閑茂起, 福島敏高)

日 時 平成10年3月13日(金) 13:30~17:00
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(詳細は前記参照)
議 題

- (1) SGML文書の内容検証方式とその評価
今村 誠, 森口 修, 鈴木克志, 辻 秀一(三菱電機)
- (2) SGML/XML'97コンファレンス参加報告-SGML/XMLの
技術動向とビジネス展開の状況-
大野邦夫(INSエンジニアリング)
モートン・バイヤー(アプローチ)
- (3) 文書校正支援システムのマニュアル開発への適用事例
笠原健成(日立)

◆第111回 知能と複雑系研究会 (発表件数:6件)

(主査:中島秀之, 幹事:有馬 淳, 加藤 浩, 山田誠二)

日 時 平成10年3月16日(月) 13:00~17:15
会 場 情報処理学会 会議室(芝浦)(所在地は前記参
照)

- 議 題 テーマ:マルチエージェントの創発/自己組織化
- (1) 多目的GAを用いたロボットの行動決定ネットワークの進
化的獲得 東原智幸, 渥美雅保(創価大)
 - (2) 空間的に分布した四人のディレンマゲームエージェントの
進化 鍋木康宏, 星野 力(筑波大)
 - (3) 四人のディレンマゲームにおける社会的行動の進化
山内 敦, 星野 力(筑波大)
 - (4) 分類子システムを用いたエージェントの適応戦略獲得
江谷典子, 武田英明, 西田豊明(奈良先端大)
 - (5) 弱い知識構造に基づくロボットの行動生成
内田恵久, 武田英明, 西田豊明(奈良先端大)
 - (6) マルチエージェント環境における行動学習のための部分空
間同定法による状態空間の構成
内部英治, 浅田 稔, 細田 耕(阪大)

*人工知能学会(ホットトピックスと超並列人工知能研究会)と
共催。

◆第67回 情報システム研究会 (発表件数:7件)

(主査:黒川恒雄, 幹事:阿部昭博, 魚住 董, 内木哲也)

日 時 平成10年3月17日(火) 13:00~17:00
会 場 東京工科大学 講義棟A201教室
[東京都八王子市片倉1401-1. JR(横浜線):八王子みなみ
野下車, 東京工科大学専用バス停(駅から徒歩1分の片柳
学園)からバス便あり, ただし時間帯によってバス便数少.
またはタクシー利用. いずれの所用時間も約5~6分.
Tel(0426)37-2111. URL-http://www.teu.ac.jp]

- 議 題 特集:若手の会
- (1) Javaを用いたヘアスタイルシミュレーション
斎藤克英, 三田村史子, 奥山盛弥
長澤田美子, 千種康民(東京工科大)
 - (2) メタ階層アーキテクチャによるプロトタイプシステム開発
とその考察
武野内康寛, 大島俊泰, 平井 譲, 上田賀一(茨城大)
 - (3) An Electronic Billing System based on the Logistry
Jeffrey Karikai Simiri(Papua New Guinea Telecom)
 - (4) オブジェクト指向集合教育の経験 その2
高橋富夫, 三笠敬一郎(富士通)
 - (5) 多変量解析を用いたオンライン収集情報評価システムの検
討 土屋雅生, 松永俊雄(東京工科大)
 - (6) イントラネットによる社内技術情報共有化システム
(SUSIE)の開発 片山啓之(新日鉄情報通信)

(7) 特別講演:サイバー社会の実現をめざして
伊土誠一(NTT)

*研究会終了後, ささやかな懇親会を行います. 発表者・参加者相互
の交流の場としてぜひご参加ください(会費無料).

◆第110回 コンピュータビジョンと
イメージメディア研究会

(発表件数:11件)

(主査:長谷川純一, 幹事:喜多伸之, 美濃導彦, 森島繁生)

日 時 平成10年3月19日(木) 9:00~17:00
会 場 川崎市産業振興会館 第2研修室(9F)

[川崎市幸区堀川町66-20. JR川崎駅西口から線路沿いに東京
方面に徒歩8分. または京浜急行:京急川崎駅からJRのガ
ード下をくぐり右の階段を上がり徒歩7分. Tel(044)548-
4111]

議 題

- [9:00~10:30] ●動作・形状推定
- (1) 心臓X線像の動き解析のための輪郭線の曲率変化をもとに
したダイアグラム表現 古川理恵子, 出口光一郎(東大)
 - (2) ハイライトの偏光解析にもとづく透明物体表面形状の計測
斉藤めぐみ(慶大), 佐藤洋一, 池内克史(東大)
柏木 寛(慶大)
 - (3) 実物体のソフトシャドウにもとづく実照明環境の推定
佐藤いまり, 佐藤洋一, 池内克史(東大)
- [10:45~12:15] ●画像符号化・圧縮
- (4) 視差情報を用いた多眼3次元画像の効率的符号化法
八木原英之, 浜村倫行, 相田 仁, 齊藤忠夫(東大)
 - (5) 複合現実感のための3次元モデルに基づく見えの圧縮
西野 恒, 佐藤洋一, 池内克史(東大)
 - (6) パラメトリックテンプレート空間の圧縮
田中弘一, 大原秀一, 佐野陸夫, 奥平雅士(NTT)

- [13:15~14:45] ●顔画像処理・認識
- (7) 空間周波数に基づく顔器官の形状認識と再合成
武藤淳一, 藤井英史, 森島繁生(成蹊大)
 - (8) 画像の粗さ測度と輪郭情報を用いた顔画像の特徴抽出
高橋公生, 小谷一孔(北陸先端大)
 - (9) 顔情報処理のための共通プラットフォームの構築
八木康史(阪大), 森島繁生(成蹊大), 金子正秀(KDD)
原島 博(東大), 谷内田正彦(阪大)
原 文雄(東理大), 橋本周司(早大)

- [15:00~16:00] ●距離画像処理
- (10) 対象の一部分の距離画像からの一般化円筒表現の生成
奥村政彦, 出口光一郎(東大)
 - (11) 色の境界部分を用いた複数レンジデータの統合
石川知幸, 大槻正樹, 佐藤幸男(名工大)

[16:00~17:00]
(12) 見学:NTTデータ通信 情報科学研究所

◆第18回 数理モデル化と問題解決研究会
(発表件数:13件)

(主査:中森真理雄, 幹事:城 和貴, 白石洋一, 古瀬慶博)

日 時 平成10年3月20日(金) 9:30~17:20
会 場 電気通信大学 西9号館3F AVホール
[東京都調布市調布ケ丘1-5-1. 新宿駅より京王線:調布(北
口)下車(特急・急行・快速にて約20分), 徒歩約10分.
Tel(0424)83-2161(ext.3241)(事務室:小田島). URL-
http://al.ei.tuat.ac.jp/mps/index.html]

議 題

[9:30~12:00] ●一般

- (1) An Adam-Eve-like Genetic Algorithm and its Application to a Simple Flexible Assembly System
S. Alireza Feyzbakhsh (電通大)
- (2) Hyper構造CAIにおける適応的内容選択機構
柳沢孝典, 松居辰則, 岡本敏雄 (電通大)
- (3) 遺伝的アルゴリズムを用いた授業時間割作成システム
金盛友孝, 松居辰則, 岡本敏雄 (電通大)
- (4) 自己連想記憶能力を実装した記憶に基づく推論法
松居辰則, 岡本敏雄 (電通大)
- (5) タブ探索を用いた多回転送問題の解決とその動的再計画
上田晴康 (富士通研)
- (6) ファジイとニューラルネットワーク手法導入のためのパッケージフローモデルとその応用
石黒美佐子, 丸繁卓彦, 松岡 浩 (茨城大)

[13:30~16:00] ●ゲームとモデル化

- (7) 一方に線形, 他方に凹である支払関数をもつ2人ゼロ和ゲームの解法
宝崎隆祐, 飯田耕司 (防衛大)
- (8) 「モノポリー」の思考アルゴリズムのための一検討
野中俊一郎 (NTTデータ)
- (9) ビデオゲームデザインのためのモデル 中西 英之 (京大)
- (10) NPC動作アルゴリズムの自動生成に関する考察
長久 勝 (フィルインカフェ)
- (11) セラオートマトンを利用した, コンピュータ・ロールプレイングゲームにおける「感覚」導入の試み
加藤賢哉 (日本HP)
- (12) マルチシナリオゲームにおける並列世界のモデル
鬼塚健太郎 (RWCP)

[16:20~17:20] ●パネル討論

- (13) アミューズメントゲームは工学となりえるか?

◆第61回 アルゴリズム研究会 (発表件数: 9件)

(主査: 浅野孝夫, 幹事: 阿久津達也, 今井桂子, 半田恵一)

日時 平成10年3月20日 (金) 10:00~16:30

会場 東芝 研究開発センター 特別第1会議室

[川崎市幸区小向東芝町1. JR, 京急: 川崎 (東口) 下車, 地下街 (アゼリア) 10, 11番出口からバス乗場28で東急バス東芝前, または下平間行で小向交番前下車. または乗場26の五反田駅行, 27の溝の口駅行や市民ミュージアム行で小向交番前下車. 研究開発センター 正門受付. Tel(044)548-5470 (半田)]

議題

[10:00~12:15]

- (1) On a class of problems in computational geometry
Antonio Hernandez-Barrera (JAIST)
- (2) Some apparently hard problems in algorithmic number theory
S. V. Nagaraj (日本IBM)
- (3) On the maximum weight stable set problem and its extension for claw-free graphs
中村大真, 田村明久 (電通大)
- (4) MAX SATに対する近似アルゴリズムの実際的评价
堀 邦彰, 浅野孝夫 (中央大)

[13:30~16:30]

- (5) 再構成メッシュ上の並列アルゴリズムの視覚化ツール
渡辺智雄, 中野浩嗣, 林 達也 (名工大)
- (6) PRAMアルゴリズムのマルチスレッドアーキテクチャへのインプリメントと評価
佐藤和博, 黒澤隆之
本田健治, 中野浩嗣, 林 達也 (名工大)
- (7) Some modifications of lockout-free mutual exclusion

algorithms

- 川美奈子, 車崎裕信, 西谷泰昭, 五十嵐善英 (群馬大)
- (8) 分散システムにおけるプライオリティ付き相互排他制御に関する研究
吉田貴英, 浅野孝夫 (中央大)
- (9) WWW上におけるアルゴリズムアニメーションシステムの構築
関下浩正, 池田 諭, 中森眞理雄 (農工大)

◆第47回 コンピュータと教育研究会 (発表件数: 5件)

(主査: 大岩 元, 幹事: 河合和久, 河村一樹, 小林 修)

日時 平成10年3月20日 (金) 13:30~17:20

会場 情報処理学会 会議室 (芝浦) (所在地は前記参照)

議題

- (1) 国語教育における学習支援ツールとしてのコンピュータ活用ー「要約」活動への対話的支援の実際からー
山下俊幸 (横浜国大附属横浜小)
- (2) 高校生のための情報表現教育
小林 修 (前産能大)
大岩 元 (慶大), 武井恵雄 (帝京大)
- (3) 慶応SFCのテクニカルライティング講座
君島 浩 (富士通ラーニングメディア)
- (4) オブジェクト指向を意識した応用ソフトウェア教育
水島賢太郎 (神戸女子短大)
- (5) プログラミング学習を支援する言語処理系「NB2」の設計
橋本 裕, 早川栄一, 並木美太郎 (農工大)
高橋延匡 (拓殖大)

*日本認知科学会 (教育環境のデザイン研究分科会) と共催。

◆第18回 プログラミング研究会

(発表件数: 13件 (12月25日現在))

(主査: 石畑 清, 幹事: 伊知地宏, 上田和紀, 寺田 実)

日時 平成10年3月23日 (月) 9:00~17:00 (予定)

24日 (火) 9:00~17:00 (予定)

会場 電気通信大学 情報システム学研究科棟 大会議室 (2F) (所在地は前記参照)

議題 特集: 並列・分散処理, および一般

3月23日 (月) ●特集: 並列・分散処理

- (1) オブジェクト指向HDLに向けた自律再構成可能アーキテクチャ
小西隆介, 小栗 清, 永見康一
塩澤恒道, 伊藤秀之 (NTT)
- (2) Alpha-chipマシン上のPHL処理系について
佐藤圭史, 青木 徹, 寺島元章 (電通大)
- (3) Javaにおける分散開発環境の研究
小池 誠, 岩澤京子 (農工大)
- (4) 準弱双模倣性をもとにした仕様の段階的合成分方法
磯部祥尚, 佐藤 豊, 大蔭和仁 (電総研)
- (5) Mobile Ambients—Coordination for Mobile Agents—
佐藤一郎 (お茶の水女子大)
- (6) BDIアーキテクチャを用いた分散協調戦略選択機構
山崎賢治, 植崎修二, 牛島和夫 (九大)
- (7) 並行オブジェクト指向言語における再帰に伴うデッドロックの回避機構の設計と実装
柳川和久, 佐藤直人, 大澤範高, 弓場敏嗣 (電通大)
- (8) ページのプリフェッチングにおける動的調整機構
小野貴寛, 大澤範高, 弓場敏嗣 (電通大)

3月24日 (火) ●一般発表

- (9) 木再帰プログラムからの再帰還元
二村良彦 (早大), 大谷啓記 (NTTコムウェア)
寛 一彦, 坂本巨樹, 小西善二郎 (早大)

- (10)線形再帰プログラムからの再帰除去実現とその問題点
坂本巨樹, 川本史生, 小西善二郎, 二村良彦 (早大)
- (11)一般部分計算における形式的推論体系の利用について
湯浅能史 (早大)
- (12)PaiLispプログラミングのための視覚的ツールの試み
三森 哲, 伊藤貴康 (東北大)
- (13)SSA形式を中間言語とするコンパイラの属性文法による定式化と開発
佐々木見, 佐伯賢司, 奥平雄吾
廣田哲志, 市川哲生, 佐々政孝 (東工大)

*特集は電子情報通信学会 (コンピュータシミュレーション研究会, ソフトウェアサイエンス研究会) と共催。
*上記プログラムは暫定的なもので, 開催時間および共催研究会への申込み分を含めた最終プログラムは電子情報通信学会誌 (2月号) をご覧ください。

~~~~~

**\*\*\*研究会 論文募集\*\*\***

**発表申込方法** 研究会発表申込書の様式で, 発表題目, 発表者名 (登壇者に○), 略称所属, 概要 (50字程度), 発表申込者連絡先 (住所, 氏名, Tel., Fax., E-mail) を明記の上, 各研究会照会先までe-mailまたはFax.で直接お申し込みください。下記の研究発表会以外および特に指定がない研究会は, 事務局研究会担当宛 (E-mail:sig@ipsj.or.jp Fax(03)5484-3534) に開催日の3ヵ月前までにお申し込みください。

◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会  
日 程 平成10年5月7日 (木)・8日 (金)  
会 場 沖縄ホテルムーンビーチ  
議 題 テーマ: マルチメディアネットワーク社会 (inter, intra, extranets) のシステムソフトウェアならびに応用技術

発表申込締切 平成10年2月20日 (金)  
照会先 石川 裕 (RWCP)  
E-mail:ishikawa@rwcpc.or.jp  
Tel(0298)53-1651 Fax(0298)53-1652

\*電子情報通信学会 (コンピュータシステム研究会) と共催。

◆データベースシステム研究会 (DBS)

◆情報学基礎研究会 (FI)

上記2研究会による初めての一部合同・連続研究会です。マルチメディア情報検索, 情報流通を中心に議論と情報交換を行う予定です。多数のご応募を期待しています。

日 程 平成10年5月14日 (木)・15日 (金)  
会 場 東京電力 技術開発センター (横浜市)  
議 題 小特集: マルチメディア情報検索と情報流通, および一般

発表申込締切 平成10年3月3日 (火)  
照会先 窪野哲光 (東京電力)  
E-mail:T0680033@pmail.tepco.co.jp  
Tel(045)585-8781 Fax(045)585-8793

\*できるだけE-mailをお願いします。連絡を受けましたら, 3日以内に返信いたしますので, 返信のない場合にはご連絡ください。  
\*前日 (13日) に, 同会場で電子情報通信学会 (データ工学研究専門委員会の第1種研究会 (特集: デジタルライブラリ)) が連続開催されます。

◆ソフトウェア工学研究会

日 程 平成10年5月15日 (金)

会 場 上智大学 7号館 第2会議室

発表申込締切 平成10年3月2日 (月)

照会先 田村恭久 (上智大)

E-mail:ytamura@me.sophia.ac.jp

Tel(03)3238-3003 Fax(03)3238-3311

\*できるだけE-mailをお願いします。

\*本研究会のホームページ:

URL-http://www.comp.ae.keio.ac.jp/lab/iijima/sigse.html

◆計算機アーキテクチャ研究会

日 程 平成10年5月15日 (金)

会 場 松下電器松心会館 (大阪府門真市)

議 題 特集: プロセッサアーキテクチャと一般

発表申込締切 平成10年2月27日 (金)

照会先 宮田裕行 (三菱電機)

E-mail:miyata@isl.melco.co.jp

Tel(0467)41-2518 Fax(0467)41-2526

\*できるだけE-mailをお願いします。

◆ハイパフォーマンスコンピューティング研究会

日 時 平成10年5月15日 (金)

会 場 新情報処理開発機構 (RWCP) つくば研究センタ

発表申込締切 平成10年3月1日 (日)

照会先 研究会幹事 E-mail:hpc-kanji@etl.go.jp

\*お手数ですが, 「Subject: IPSJ-HPC-Application」としてお送りください。

◆ヒューマンインタフェース研究会

日 程 平成10年5月15日 (金)

会 場 慶應義塾大学 矢上キャンパス

議 題 特集: インタラクティブ・デバイスおよび一般

発表申込締切 平成10年2月27日 (金)

照会先 中内 靖 (防衛大) E-mail:nakauchi@cc.nda.ac.jp

Tel(0468)41-3810 (ext.2536) Fax(0468)44-5900

◆分散システム運用技術研究会

日 程 平成10年5月15日 (金)

会 場 NEC本社 B1 多目的ホール

発表申込締切 平成10年2月25日 (水)

照会先 中山雅哉 (東大)

E-mail:nakayama@nc.u-tokyo.ac.jp

Fax(03)5684-7775

\*できるだけE-mailをお願いします。

◆アルゴリズム研究会

日 程 平成10年5月20日 (水)

会 場 東京大学計数工学科

発表申込締切 平成10年2月27日 (金)

照会先 今井桂子 (中央大) E-mail:imai@ise.chuo-u.ac.jp

Tel(03)3817-1685 Fax(03)3817-1681

◆グループウェア研究会

日 程 平成10年5月21日 (木)・22日 (金)

会 場 京都大学 芝蘭会館

発表申込締切 平成10年2月27日 (金)

照会先 垂水浩幸 (京大)

E-mail:tarumi@kuis.kyoto-u.ac.jp

Tel(075)753-5385 Fax(075)753-4970

◆設計自動化研究会



日 程 平成10年5月22日 (金)  
会 場 情報処理学会 会議室 (芝浦)  
議 題 テーマ: レイアウトと一般  
発表申込締切 平成10年3月2日 (月)  
照 会 先 若林真一 (広島大)  
E-mail:wakaba@ecs.hiroshima-u.ac.jp  
Tel(0824)24-7678 Fax(0824)22-7195

\*できるだけE-mailをお願いします。

◆数理モデル化と問題解決研究会

日 程 平成10年5月22日 (金)  
会 場 東京農工大学  
発表申込締切 平成10年2月27日 (月)  
照 会 先 城 和貴 (和歌山大)  
E-mail:joe@sys.wakayama-u.ac.jp  
Tel(0734)57-8081

◆モバイルコンピューティング研究会

日 程 平成10年5月28日 (木)・29日 (金)  
会 場 高知工科大学 研究教育A棟A101号室  
発表申込締切 平成10年2月20日 (金)  
照 会 先 寺岡文男 (ソニーCSL)  
E-mail:tera@SonyCSL.co.jp

~~~~~

フロンティア領域ジョイント研究会1998 (FJK '98)

- ◆自然言語処理研究会 (NL)
- ◆知能と複雑系研究会 (ICS)
- ◆コンピュータビジョンとイメージメディア研究会 (CVIM)
- ◆コンピュータと教育研究会 (CE)
- ◆人文科学とコンピュータ研究会 (CH)
- ◆音楽情報科学研究会 (MUS)
- ◆音声言語情報処理研究会 (SLP)
- ◆電子化知的財産・社会基盤研究会 (EIP) *平成10年度新設

フロンティア (FR) 領域所属の上記8研究会は下記のとおり研究会集会 (研究発表会を同会期中に同会場で開催) を行います。通常とはひと味違った試みを準備するとともに一般講演も募集します。多くの発表申込みをお待ちしています。

日 程 平成10年5月27日 (水) 午後~29日 (金) 午後

●各研究会の日程 (予定)

NL: 28日・29日 (SLPと一部合同) / ICS: 27日
CVIM: 27日・28日 / CE: 28日・29日 / CH: 29日
MUS: 27日・28日 / SLP: 28日・29日 (NLと一部合同)
EIP: 29日

●全研究会の代表によるパネル討論: 28日 (午後)

テーマ「情報フロンティアにおける重要テーマとは (仮題)」

会 場 ・総合研究大学院大学 (神奈川県三浦郡)
・生産性国際交流センター (神奈川県三浦郡)
*上記2会場は隣接しています。

発表申込締切 平成10年2月27日 (金)

各研究会の照会先等

NL: 宇津呂武仁 (奈良先端大) Tel(07437)2-5242
E-mail:utsuro@is.aist-nara.ac.jp Fax(07437)2-5249
ICS: 山田誠二 (東工大) E-mail:yamada@ymd.dis.titech.ac.jp
Tel & Fax(045)924-5217
CVIM: 角所 孝 (京大) E-mail:kakusho@kuis.kyoto-u.ac.jp

Tel(075)753-5996 Fax(075)753-5965
CE: 河村一樹 (宮城大) E-mail:kawamurk@mail.sp.myu.ac.jp
Tel & Fax(022)377-8360
CH: 坂谷内勝 (教育研) E-mail:saka@nier.go.jp
Tel(03)5721-5093 Fax(03)3714-0986
MUS: 平田圭二 (NTT) E-mail:hirata@nefertiti.br1.ntt.co.jp
Fax(0462)40-4721
SLP: テーマ: 言語モデル, ディクテーション, 一般
小林哲則 (早大) E-mail:koba@tk.elec.waseda.ac.jp
Tel(03)5286-3379 Fax(03)3205-9381
EIP: 工藤育男 (ジャストシステム)
E-mail:ikuo_Kudo@justsystem.co.jp Fax(03)5412-3988

*できるだけE-mailでのお申込みをお願いします。

*本研究会集会の宿泊, 懇親会などについては前号本欄をご参照ください。また, 最新情報やプログラムなどについては今後の本欄とURL-http://www.ipsj.or.jpに掲載しますのでご覧ください。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

研究発表会参加・発表申込方法・ 研究報告について

◆研究発表会参加

研究発表会には自由に参加できます。開催に関する詳細等は開催月前月号の本欄に掲載します。(長期開催予定は2, 4, 8月号本欄掲載)

一研究発表会当日参加について (発表者, 聴講者) 一

- ◇研究会 (個人, 賛助, 準) 登録会員の当該登録研究会に参加の場合: 無料
- ◇研究会登録会員以外で研究発表会に参加の場合:
 - ・情報処理学会会員 当日の資料代 (1,500円程度)
 - ・情報処理学会学生会員 500円
 - ・非会員 1,000円+当日の資料代
- *共催・協賛の開催の場合や, 当日の資料がない場合は上記の限りではありません。
- *年間を通して参加の場合には登録をお願いします。

◆研究会登録

研究発表会への年間を通して参加の場合, または研究報告, 研究会論文誌を入手希望の場合には登録をお願いします。
*各研究会登録費等の詳細は, 研究会登録申込用紙 (新規) (本号会告欄掲載) をご参照ください。
*学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして「研究会準登録者」制度を設けております。詳細は事務局研究会係までお問合せください。

◆研究発表会発表申込方法

会員は任意の研究会に次の方法で研究発表会の申込みをすることができます。
・希望者は所定の研究会発表申込書 (本号会告欄掲載) により, 発表希望日の3カ月前までに各研究会照会先, または事務局研究会係にお申込みください。なお, 申込締切日は都合により若干繰り上がることがあります。
・原稿執筆等の詳細は発表が決定 (開催月の2カ月前の中旬) しだいお知らせします。
・発表者も通常参加基準 (上記当日参加参照) が適用されます。

◆研究報告残部購入申込

発表年月(資料番号), 研究会名, 希望部数, 申込者氏名, 送付先, 電話番号を明記のうえ, 書面にて(E-mail, Fax可)事務局研究会係までお申込みください. その際にはあらかじめ電話等で残部の確認をお願いします.(当年度, 前年度残部のみ頒布可. 送料: 270円/冊)

残部資料のないもののコピーサービスに関しては, 科学技術振興事業団(JST)へお問合せください(有料). 国立国会図書館においても閲覧, コピーすることができます.

* 国立国会図書館

〒100-0014 千代田区永田町1-10-1 Tel(03)3581-2331

* 科学技術振興事業団(JST)

〒100-0014 千代田区永田町2-5-2 Tel(03)3581-6411

◆研究報告の閲覧

閲覧希望者は, あらかじめ電話等でその旨を研究会係までご連絡のうえお越しください.

◆照会先

社団法人 情報処理学会 研究会係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail:sig@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

「研究グループ」について

確立された分野を対象とした研究会とは別に, ある特定分野の研究開発を短期間集中的に行うとか, 新しい研究分野となり得る萌芽的研究など, より自由で機動性に富んだ研究活動を促進するために, 研究グループ制度があります.

この制度は会員の方々の研究活動にお役立ていただけるものとして手軽に設立することができます.

設立等の詳細につきましては事務局研究会担当までお問合せください.

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

行事No.S-HI98

「インタラクシオン'98」参加者募集

コンピュータとネットワーク技術の進歩は, 情報環境の高度化にとどまらず, 人間および社会に大きな影響を与えています. 「インタラクシオン'98」は, メディア情報処理, 情報メディアと情報環境, システムとソフトウェア, さらに, 社会科学, 認知科学などの研究者が包括的に集うことのできるCross Culturalな「インタラクシオンの場」です. 質の高い議論が展開され, 新たなインタラクシオン研究の方向性が示唆されることをねらって開催いたします.

前回の「インタラクシオン'97」(<http://www.brl.ntt.jp/interaction97/>参照)には予想を上回る参加者があり, 活発で有意義な研究交流の場となりました. 今回は前回を超える多数の発表申し込みがあり, その中からプログラム委員会によって新しい基準で採択された21件の論文発表, および作品, システム, ツールの実際のデモや展示を中心とした多数のインタラクティブ発表が行われます. また, 招待講演としてKurlander氏(Microsoft)にComic Chatの最新の成果をご講演いただきます. 皆様のご参加をお待ちしています(学生以外の参加費には論文集代, ビデオプロシードニング代, 懇親会費が含まれます). なお, 最新の情報は<http://www.brl.ntt.co.jp/interaction98/>をご参照ください.

日 時 平成10年3月3日(火) 9:30~17:50
(18:00~20:00懇親会)

4日(水) 9:30~17:45

会 場 東京大学 山上会館(文京区本郷)

*参加申込みの方には, 詳細を後日送付.

主 催 情報処理学会 ヒューマンインタフェース研究会
協 賛 電子情報通信学会(ヒューマンコミュニケーショングループ), 日本ソフトウェア科学会(インタラクティブシステムとソフトウェア研究会), 日本社会心理学会, 情報処理学会(情報メディア研究会, グループウェア研究会), コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 音楽情報科学研究会, 音声言語情報処理研究会)

参加費 会員:16,000円 登録会員:14,000円(主催・協賛研究会会員/日本社会心理学会会員) 非会員:20,000円(いずれも論文集代, ビデオ代, 懇親会費を含む)

学生:5,000円(論文集代を含む)

論文集のみ:5,000円, ビデオのみ:3,000円

申込方法 本号会告欄または学会ホームページの行事申込書にてお申し込みください.

申込締切 平成10年2月20日(金) *当日受付も歓迎しますが, 論文集不足の際は事前登録者を優先します.

申込/照会先 社団法人 情報処理学会 シンポジウム係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20
芝浦前川ビル7F E-mail:sig@ipsj.or.jp
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
<http://www.ipsj.or.jp/sympo/mgyoji.html>

プログラム

3月3日(火)

- [9:30~10:30] 招待講演 司会:竹林洋一(東芝)
(1) Comic Chat: From Research To Product
David Kurlander (Microsoft)
- [10:45~11:45] ジェスチャ 座長:松岡 聡(東工大)
(2) 形状の個体差に適應する精密なジェスチャ推定
島田伸敬, 白井良明, 久野義徳, 三浦 純(阪大)
- (3) 時系列パターン認識のための精密な確率モデル-部分隠れマルコフモデルとそのジェスチャ認識・音声認識への応用-
益満 健, 古山純子, 小林哲則(早大)
- [11:45~12:00] インタラクティブセッションI (概要説明) 座長:中内 靖(防大)
- [13:00~14:20] インタラクティブセッションI
・遠隔教育用システムのためのカメラ制御ツールの試作
西村浩二(広島大), 前田香織(広島市大)
相原玲二(広島大)
- ・VRML2.0仮想空間共有のポータブルな実現方法-Javaオブジェクト間通信機構:HORBの応用-
秋山朋之(日本アドバンス・テクノロジー)
- ・対話的整形と予測描画による幾何学的図形の高速描画
五十嵐健夫(東大), 松岡 聡(東工大)
河内谷幸子, 田中英彦(東大)
- ・握力インタフェースを用いた仮想楽器-GraspMIDI-の試作
尾上直之, 澤田秀之, 橋本周司(早大)
- ・視覚障害者用グラフアクセスシステム
海老名毅, 猪木誠二, 三宅輝久, 高橋寛子(通信総研)
- ・HORBを利用したロボット操作環境
平松 薫, 森 啓, 納谷 太, 大里延康(NTT)
- ・音楽を用いた対話的3次元CGアニメーション-ミュージックドリブンCGの試作-

- ・ 村田克之, 山内康晋, 土井美和子 (東芝)
- ・ 合成音声を用いてインタラクティブに教示するペン習字CAIシステムの構築 篠崎 翼, 阿部匡伸 (NTT)
- ・ ラビッドプロトタイプングツールMuse 神尾広幸, 雨宮美香, 松浦 博, 新田恒雄 (東芝)
- ・ リアルタイムTVインデクシング

青木 恒, 堀 修 (東芝)

- [14:30~15:50] 視覚化 座長: 小池英樹 (電通大)
- (4) インタラクティブシステムのためのグラフ描画アルゴリズム 南雲 淳, 田中二郎 (筑波大)
- (5) モバイル環境のユーザインタフェース向上に向けて—携帯情報端末用フォントの高品質化に関する一手法— 安本 護, 富田義数 (三洋電機), 池田尚志 (岐阜大)
- (6) 情報視覚化に基づく情報共有・協調作業支援の検討* 寺岡照彦, 秋吉政徳 (三菱電機)

- [16:00~17:50] デバイスと3D 座長: 安村通晃 (慶大)
- (7) 振動子型触覚デバイスを用いた流れ場表現 矢野博明, 廣瀬通孝, 小木哲朗, 田村善昭 (東大)

- (8) 簡易モーションキャプチャセンサDigitEye3Dとインタラクティブシステムへの応用 片寄晴弘 (和歌山大/LIST)
- 金森 務, 平井重行, 坂口貴司, 井口征士 (LIST)
- (9) 3次元仮想環境における3次元オブジェクト間の動的なインタラクションのモデル 荒木義明 (慶大)
- (10) 空間描画動作同定に基づく3次元曲線プリミティブ入力インターフェース* 佐々木聡, 佐賀聡人 (室蘭工大)

- [18:00~20:00] ベストペーパー賞表彰, 懇親会 3月4日 (水)

- [9:30~11:30] インタラクティブメディアとその影響 座長: 森 博彦 (武蔵工大)
- (11) AVON: サイバーブックに“編み込んだ”インタラクティブ映像本 外村佳伸, 小澤英昭, 谷口行信, 南 憲一 (NTT)
- (12) インタラクティブ映画第2次システムの構成 中津良平, 土佐尚子, 越知 武 (ATR)
- (13) アコースティック楽器を用いたセッションシステムの開発 青野裕司, 井口征士 (阪大), 片寄晴弘 (和歌山大)
- (14) テレビゲームと人間の暴力—メディアのインタラクティブ性の影響力— 坂元 章, 尾崎 恵 森津太子, 高比良美詠子, 伊部規子 (お茶の水女子大)

- [11:30~11:45] インタラクティブセッションII (概要説明) 座長: 椎尾一郎 (玉川大)

- [12:45~14:05] インタラクティブセッションII
- ・ 人間の意図を認識し支援する知的車椅子の実験システム 足立佳久, 村嶋照久, 山根英紀 久野義徳, 島田伸敬, 白井良明 (阪大)
- ・ WWWページごとに顔が替わる擬人化エージェントインタフェース 土肥 浩, 石塚 満 (東大)
- ・ テレビ信号を用いた簡易ステレオシステム 辻合秀一 (近畿大)
- ・ 子供とコンピュータを結ぶサポーターの役割に関する一考察 嵯峨田良江, 下原勝憲, 外村佳伸 (NTT)
- ・ ACOUSTIC INDEXING FOR SPOKEN DOCUMENT RETRIEVAL Gareth J. F. Jones (Univ.of Exeter)
- ・ 他者の感性情報を利用した画像空間理解支援環境: EVIDII 杉山仁彦, 高田真吾 (奈良先端大) 中小路久美代 (奈良先端大/SRA)
- ・ 集合フィルタを用いたビジュアルな動的データ検索 平田真章, 浦野直樹 (シャープ)
- ・ マルチモーダル電子メールにおける情報共有 梶田哲史, 安藤 智, 川口雄一, 吉田裕之 (松下電器)

- ・ 音声から画像へのメディア変換を用いたサイバースペース上での多人数コミュニケーションシステム 四倉達夫, 小林智典, 藤井英史, 森島繁生 (成蹊大)
- ・ 時空間の視覚化手法—年輪メタファを組み込んだ時空間ブラウジングコンテンツ—

野田尚志, 上窪真一, 旭 敏之 (NEC)

- [14:15~16:05] 情報流通・検索 座長: 中小路久美代 (奈良先端大)
- (15) Recycled Media—概念と可能性— 瀬川典久, 佐藤 究, 宮崎正俊 (東北大) 布川博士 (宮城教育大)
- (16) 安全なソフトウェア流通システムの構築と運用評価* 佐々木茂彦, 桂林 浩, 谷口慎一郎, 京嶋仁樹 田丸恵理子, 大澤 隆 (富士ゼロックス)
- (17) ユーザーの要求に応じた情報フィルタリングシステム NEATのプロファイル生成* 酒井哲也, Gareth J. F. Jones 梶浦正浩, 住田一男 (東芝)
- (18) 知的ニュースリーダー—HISHO—の開発* 小作浩美, 内元清貴, 井佐原均 (郵政省)
- (19) ネットワーク空間における目標が不明確な探索行動の目標明確化と満足度* 齋藤真里, 大村和典 (ソニー)

- [16:15~17:35] マルチモーダル 座長: 暦本純一 (ソニー)
- (20) 音声とジェスチャによる対話に基づくヒューマンロボットインターフェース 高橋拓弥, 中西 知, 久野義徳, 白井良明 (阪大)
- (21) “GAZE TO TAKE” メタコミュニケーション能力を持つ非言語メッセージ利用インタフェース 知野哲郎, 福井和広 山口 修, 鈴木 薫, 田中克己 (東芝)
- (22) マルチモーダル入力、マルチメディア出力の案内システム: MMGS* 森 元, 竹澤寿幸 (ATR)
- [17:35~17:45] ベストインタラクティブ発表賞表彰, 閉会の辞

※一般講演における無印はロング発表 (30分), *はショート発表 (20分) を意味します。

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

「グラフィクスとCADシンポジウム」論文募集 (Visual Computing '98, SIGGRAPH TOKYOと合同開催)

グラフィクスとCADの応用が盛んになるにつれて、関連分野 (たとえば、コンピュータビジョン、ネットワーク、芸術など) を含む、より広い視点に立って、研究を進める必要性が高まってきました。

本研究会では、標記シンポジウムを過去14回開催してまいりました。

特に昨年は、画像電子学会Visual Computing研究委員会と共催を行い、より大きな成果を得ることができました。本年度はさらにSIGGRAPH TOKYO (講演中心)、および画像電子学会Visual Computing研究委員会と共催によるシンポジウムを下記の通り行う予定であります。

活発な議論を喚起する論文の応募をお願いいたします。

日 時 平成10年6月12日 (金)・13日 (土)
 会 場 早稲田大学 国際会議場 (東京)
 主 催 情報処理学会 グラフィクスとCAD研究会
 画像電子学会 Visual Computing研究委員会
 SIGGRAPH TOKYO

論文募集要項

テーマ 主なキーワードは下記のとおりですが、これらに限るものではありません。

- ・グラフィクスの基礎：
表示、レンダリング、データ構造とデータベース、計算幾何学
- ・グラフィクスシステム：
グラフィクス言語、ソフトウェアパッケージ、入出力デバイス、グラフィクスハードウェア、ユーザインタフェース、ネットワーク用グラフィクス、標準化
- ・グラフィクスの応用：
マルチメディア、アニメーション、アート、人工現実感、自然物表現、グラフィクスとビジョンの融合、実写合成、ビジュアライゼーション、文書処理
- ・CAD：
設計方法論、幾何モデル、位相モデル、図面入力と処理、エンジニアリングデータベース、インテリジェントCAD

実施方法

- (1) 発表に対する質疑討論の時間を長めにとり、討論重視のシンポジウム運営を予定しております。完成された研究論文のみならず、問題提起、新しい試み、提案など、さまざまな性格のオリジナル論文を歓迎します。
 - (2) 論文内容が伝わる概要を、A4用紙2枚程度（様式任意、必要に応じて図、参考文献を添付）にまとめ、下記申込先にお送りください。なお、E-mailによる概要の投稿も歓迎いたします。
 - (3) 応募された論文概要に基づき、シンポジウム実行委員会では審査いたします。採択されたものにつきましては、カメラレディ（A4用紙2～8枚）の予稿を提出していただきます。
- *採択された論文の登壇発表者は山下記念研究賞の選考対象となります。

スケジュール

- (1) 論文概要締切 平成10年3月6日（金）必着
- (2) 論文審査結果通知 平成10年4月上旬
- (3) カメラレディ原稿締切 平成10年5月8日（金）必着

申込/照会先 青野雅樹 E-mail:aono@trl.ibm.co.jp
Tel(0462)73-5673 Fax(0462)73-7413
〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間1623-14
日本アイ・ピー・エム（株）東京基礎研究所

参加費 会員：10,000円 研究会登録会員：8,000円
学生：3,000円 非会員：12,000円

(いずれも論文集代込。Visual ComputingのセッションおよびSIGGRAPH TOKYOにも自由に入出入りできます。)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

書籍

大学の理工系学部情報系学科のための コンピュータサイエンス教育カリキュラムJ97 頒布のお知らせ

本学会情報処理教育カリキュラム調査委員会J97策定ワーキンググループ（J97-WG）では、標記カリキュラムを策定し、報告書としてまとめました。

目次概要は以下のとおりです。

目次概要：・大学の理工系学部情報系専門学科の役割

・CS教育カリキュラムJ97の設計

・J97の提示方法

*付録：J97の講義科目（詳細）—シラバス形式—

*付録：モデル履修コース（詳細）

本報告書を下記によりおわけします。ご希望の方は学会誌会告欄または学会ホームページの「書籍」申込書にてお申し込みください。

頒布価格 1,500円（送料、消費税込）

書籍名 M-J97（略称）

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

書籍

情報処理学会シンポジウム、講習会等 論文集リスト（95, 96, 97年版）

コード名、論文集名、開催年月、値段（消費税、送料込）

[シンポジウム]

S-FI95	★1995情報学	95・1	¥8,000
S-IM95-1	★情報メディア	95・2	¥3,000
S-ARC95	★並列処理'95	95・5	¥5,000
S-AVM-95	★MPEG-4とバーチャルリアリティ オブジェクト符合化	95・7	¥5,000
S-PS95-2	★モバイル&ユービキタスコンピューティング	95・7	¥5,000
S-NL95	★自然言語処理の応用に関するシンポジウム	95・10	¥4,000
S-OS95	★コンピュータ・システム	95・11	¥5,000
S-IM95-2	★情報メディア	95・11	¥5,000
S-DBS95	★アドバンスト・データベースシステム	95・12	¥9,000
S-GW95	★グループウェア'95	95・12	¥5,000
S-FI96	1996情報学	96・1	¥8,000
S-PS96-2	コンピューティングの歴史	96・7	¥5,000
S-ED96	情報処理教育と数理系カリキュラム	96・3	¥5,000
S-ARC96	並列処理'96	96・6	¥5,000
S-DA96	DAシンポジウム'96	96・8	¥5,000
S-IM96	情報メディア	96・9	¥5,000
SE2-96	ソフトウェア開発のためのドメイン分析 モデリング技術	96・9	¥5,000
S-ED96	産業構造の転換と情報処理教育	96・11	¥5,000
S-OS96	コンピュータ・システム	96・11	¥5,000
S-GW96	グループウェア'96	96・11	¥5,000
S-DBS96	アドバンスト・データベースシステム	96・12	¥9,000
MPS2-96	問題発見とモデル化—現場の実例—	96・12	¥4,000
S-PS97	第38回プログラミング・シンポジウム	97・1	¥5,000
S-FI97	1997情報学	97・1	¥8,000
S-DSM97	分散システム運用技術シンポジウム'97	97・2	¥5,000
S-ARC97	並列処理'97	97・5	¥5,000
DiCoMo	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DiCoMo) ワークショップ	97・7	¥10,000

DA97	DAシンポジウム '97	97・7	¥5,000
S-AVM97	次世代ボーダレスメディア '97シンポジウム	97・7	¥10,000
S-HPCS97	ハイパフォーマンスコンピューティング・シンポジウム	97・8	¥1,000
S-MBL97	モバイルコンピューティング '97シンポジウム	97・9	¥3,000
S-OS97	コンピュータシステムシンポジウム	97・11	¥5,000
S-IM97	情報メディアシンポジウム '97	97・12	¥5,000
S-MPS97	人工生命とその応用シンポジウム	97・12	¥4,000
S-DBS97	アドバンスド・データベース・シンポジウム '97	97・12	¥9,000
S-IS98	利用者指向の情報システム	98・1	¥5,000
[講習会]			
Z52	第52回全国大会シンポジウム・インダストリアルセッション	95・3	¥2,500
W-SE95	★サマワーショップ・イン・立山	95・7	¥3,000
W-DPS95	★マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	95・10	¥3,000
T-IS95	★企業活動の電子化の最新動向チュートリアル	95・11	¥4,000
W-DPS96	マルチメディア通信と分散処理ワークショップ	96・10	¥5,000

申込方法 「書籍申込書」をご利用いただき、Fax、郵便、E-mail、または学会ホームページを利用してお申し込みください。なお、書籍名には上記コード名を必ずお書きください。

★在庫5冊以内です。

*月刊誌(「情報処理」情報処理学会論文誌)の平成6年度(Vol.35)より、学会誌別冊、全国大会(平成6年、第49回より)、連続セミナー、連合大会(平成9年)のバックナンバーもあります。

照会/申込先 社団法人 情報処理学会 図書係
E-mail:tosh@ipsj.or.jp
Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534
http://www.ipsj.or.jp/tosh.html



新しい論文誌(研究会論文誌)の発行について

会長 戸田 巖

社会の情報化が急速に進展するなか、本学会は情報処理の学術、技術に関わる専門分野から学際分野までの研究・開発・調査を支援する重要な役割を担っています。今日の情報学術、技術の急速な進歩や分野の拡大に対処するため、迅速に新しい分野をカバーする研究会や研究グループ活動の強化、新しい多様な価値観の導入など、本学会に対する期待も急速に変化・拡大しており、速やかな対応が求められています。

このような状況に対処するため、本学会では、新しい論文誌採録規定の創成に向けてまず論文誌に次のような改革を行ってまいりました。

- (1) メタレビューア制度(学会誌Vol.38, No.5, No.6参照)
- (2) ゲストエディタ制度(学会誌Vol.38, No.8参照)
- (3) 研究会推薦論文制度(学会誌Vol.38, No.8参照)

さらに、急速に拡大、多様化する各種研究分野での価値ある研究をタイムリーに公表するため、従来の論文誌に加えて、研究・開発・調査の最前線において活動を展開している研究会、研究グループを主体とする複数の新たな論文誌(研究会論文誌)を発行することにいたしました。

会員の皆様には各論文誌に明記されている研究分野、査読方針等をご参照のうえ適切な論文誌にご投稿いただくこととなります。

発行の概要は次のとおりです。会員各位のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、投稿要領は個々の研究会からのご案内が順次、学会誌会告欄に掲載されます。

[研究会論文誌の発行概要]

1. 名称・刊行形態

(1) 和名は「情報処理学会論文誌：サブタイトル」とします。英名は「Information Processing Society of Japan(略称：IPJS) Transactions on サブタイトル」とします。

(2) 平成10年度5月目途で、体制の整った研究会から順次、発行予定です。

2. 編集方針と責任母体

(1) 研究会ごとに編集方針(研究分野、論文の形式、査読基準、査読方法、投稿方法等)、および責任母体(編集委員)を研究会の責任において決定し、これを公表します。

(2) 複数の研究会が合同で編集する場合があります。

(3) 非会員の投稿も認めます。

3. 研究会論文誌の購読方法

(1) 研究会論文誌の購読を希望する場合には、研究会登録申込書(本号会告欄)により、論文誌を編集する当該研究会にご登録ください。

(2) 当該研究会登録者以外の研究会論文誌の購読希望については、詳細が確定次第、学会誌上にてご案内いたします。

4. 従来の論文誌との関係

研究会論文誌は従来の論文誌がカバーしきれない研究分野を扱うこととなります。

また、従来の論文誌の和名、英名、投稿要領等に変更はありません。

以上



会員の皆様へのお知らせ・お願い

[新入会員勧誘のお願い]

お近くに情報処理に関心をお持ちの方、情報処理関連の学術研究あるいは事業に携わっている方で、入会をご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

WWWのホームページ(<http://www.ipsj.or.jp/>)では最新の活動内容、入会に関する情報などをご案内し、内外の多くの方々にご覧いただいております。また、「入会のおすすめ」(学会誌3月・9月号会告巻末、Vol.39 No.1付録会告巻末)もご利用ください。

関連学会の電気・電子情報通信・照明・映像情報メディア各学会員で在会証明書を入会申込書に添付した場合には、入会金(2,000円)が免除となります。

【賛助会員について】

本会の活動にご賛同いただける個人または団体の方は、ぜひ賛助会員として入会いただきご支援くださいますようよろしくお願い申し上げます。平成10年度より口数に応じての新たな特典も検討中です。

新規申込・口数の変更などがございましたら、会員係まで資料をご請求ください（E-mail, Fax可）。

・賛助会員費 1口 50,000円

【平成10年度会費および論文誌購読費の納入について】

平成10年度会費および購読費の納付書（郵便振替用紙）を個人会員（一括扱い会員は除く）の方へ、先月中旬発送いたしましたのでご納入いただきますようよろしくお願い申し上げます。また、転居先不明、転送期間経過などの理由により返戻となり発送ができない会員の方がいらっしゃいます。お近くに、納付書あるいは最近機関誌などが届いていないという会員の方がいらっしゃいましたら、至急会員係までお知らせくださいますようお願いください。

【会費および購読費の口座自動払込制度のご案内】

会費および購読費のご納入には、手続きが簡単で便利な自動払込制度をご利用ください。個人会員の方で銀行あるいは郵便局に口座をお持ちの方ならどなたでも登録できます。申込など詳細につきましては学会誌Vol.39, No.1（会告付録14p）をご参照ください。

【論文誌のご購読について】

「論文誌」（月刊）は有料頒布です。まだ購読されていない方は新年度から購読されることをお勧めいたします。新規購読を希望される方は、会費請求専用郵便振替用紙の通信欄にその旨をご記入いただき、論文誌購読費6,930円（消費税込）を計算の上ご送金いただくか、「変更連絡届」（学会誌偶数月号巻末添付）でその旨をご連絡いただき、別途郵便局備付けの振込用紙などをご利用いただきご送金ください。

・「情報処理学会論文誌」

年間購読費 6,930円（購読料6,600円＋消費税330円）

【機関誌送付先などの変更連絡について】

2月から5月にかけては、就職・進学・転勤・引越など会員の異動があるため、機関誌などの返戻が多数発生いたします。送付先住所などに変更が生じた場合には、早急に「変更連絡届」（学会誌偶数月号巻末または会告付録巻末添付）など書面にて会員係宛にご連絡ください（E-mail, Fax可）。電子メールをご利用の際には、必ず会員番号、氏名を明記願います。毎月20日締切で、翌月号から変更となります。

また、会員登録データの追加（連絡先電子メールなど）、変更連絡も同様に願います。

【退会について】

退会を希望される方は、会員番号・氏名・退会年月・退会希望の旨とその理由を明記したものを書面などにて会員係宛にご連絡ください（E-mail, Fax可）。なお、会費および論文誌購読費未納の方には、退会届受理後、別途退会精算の振込用紙を送付いたしますので、送付先住所などに変更がある場合には併記願います。

照会／申込先 社団法人 情報処理学会 会員係
〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20
芝浦前川ビル7F
E-mail:mem@ipsj.or.jp

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

支部だより

情報処理学会支部連絡先

北海道支部：北海道大学工学部情報工学科内

〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目

E-mail: saito@huie.hokudai.ac.jp Tel(011)706-6819

Fax(011)706-6819

東北支部：東北工業大学通信工学科内

〒982-8577 宮城県仙台市太白区八木山香澄町35-1

E-mail: mkojima@titan.tohtech.ac.jp

Tel(022)229-1151(ext.368) Fax(022)228-0447

東海支部：NTTデータ通信(株)東海支社内

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-17-21 NTT DATA東銀ビル

E-mail: t-ipsj@tcp-ip.or.jp Tel(052)204-4517

Fax(052)204-4521

北陸支部：金沢工業大学内

〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘7-1

E-mail: abe@infor.kanazawa-it.ac.jp Tel(076)294-6708

Fax(076)294-6709

関西支部：(財)関西情報センター内

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8F

E-mail: infor-soci@kiis.or.jp Tel(06)346-2543

Fax(06)346-2443

中国支部：NTTコミュニケーションウェア(株)中国支社事業推進担当内

〒733-8645 広島県広島市西区商工センター2-6-1

E-mail: kamaura@chugoku.nttcom.co.jp Tel(082)278-7902

Fax(082)501-0472

四国支部：愛媛大学工学部内

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3

E-mail: yamada@cs.ehime-u.ac.jp Tel(089)927-9963

Fax(089)927-9973

九州支部：NTTデータ通信(株)九州支社総務担当内

〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前1-17-21 NTT DATA博

多駅前ビル

E-mail: arigam@kyr.nttdata.co.jp Tel(092)475-5123

Fax(092)475-5185

*各支部の最新情報は<http://www.ipsj.or.jp>からリンクしています。

北陸支部 講演会

日時 平成10年3月14日(土)13:00~14:00
会場 富山商船高等専門学校 図書館視聴覚室
演題 最近の音声情報処理技術
ー音声転送・認識・合成ー
講師 船田哲男(金沢大学)
参加費 無料(参加資格は問いません)
照会先 〒933-0293 富山県新湊市海老江練合1-2
富山商船高等専門学校情報工学科
Tel(0766)86-5277(宮林)
または情報処理学会北陸支部事務局
Tel(076)294-6708(阿部)

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇

会議案内(協賛・後援)

◆：本会協賛・後援 1. 開催日 2. 会場 3. 照会先 4. その他

【国内会議】

◆第3回ロボティクス・シンポジウム

1. 平成10年5月7日(木)~8日(金) 2. 広島大学会館(東広島市)
3. 原田(広島大) E-mail:kharada@huis.hiroshima-u.ac.jp
<http://www.huis.hiroshima-u.ac.jp/InfoEng/Labs/Robotics/symposia.html>

◆第2回HORBシンポジウム

- 1. 平成10年5月19日(火) 2. 工業技術院共用講堂(つくば市)
- 3. 古瀬(三菱スペースソフトウェア(株))
- E-mail: furuse@ring.etl.go.jp Tel(0467)47-6703

◆第21回光波センシング技術研究会

- 1. 平成10年5月28日(水)~29日(金) 2. 江東区森下文化センター(都内江東区) 3. 福井Tel(03)3391-9587

◆ソフトウェア・シンポジウム'98

- 1. 平成10年6月17日(水)~19日(金) 2. 大阪市大(大阪市住吉区) 3. 落水(北陸先端大) E-mail: ochimizu@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1260

◆第23回光学シンポジウム「光学系および光学素子の設計、製作、評価を中心として」

- 1. 平成10年6月25日(木)~26日(金) 2. 東大生産技術研(都内港区) 3. 玄間(株)ニコン E-mail: gemma@nikon.co.jp http://www.soc.nacsis.ac.jp/osj-ap/

◆第16回日本ロボット学会学術講演会

- 1. 平成10年9月18日(金)~20日(日) 2. 北大高等教育機能開発総合研究センター(札幌市) 3. (社)日本ロボット学会 Tel(03)3812-7594 Fax3812-4628

◆経営情報学会1998年度秋季全国研究発表会

- 1. 平成10年11月7日(土)~8日(日) 2. 名古屋商科大(日進市) 3. 事務局 Tel(03)3591-8496 Fax3595-2220

◆平成10年度第1期教育講座「暗号処理と電子マネーコース」, 「第3ミレニアムの科学技術に向けてコース」

- 1. 平成10年5月7日(木)~8日(金) 2. 神奈川科学技術アカデミー(川崎市高津区) 3. (財)神奈川科学技術アカデミー E-mail: kast-ed@net.ksp.or.jp http://www.ksp.or.jp/kast/ Tel(045)819-2033 Fax819-2026

【国際会議】

◆第6回FPGA/PLD Design Conference & Exhibit

- 1. 1998年6月24日(水)~26日(金) 2. パシフィコ横浜(横浜市西区) 3. 天野(慶大理工) Tel(045)560-1063

◆The 2nd International Enterprise Distributed Object Computing Workshop (EDOC '98)

- 1. 1998年11月2日(月)~4日(水) 2. 加州, 米国 3. 上原(富士通研) E-mail: sanya@flab.fujitsu.co.jp

○情報科学国際交流財団「研究者海外派遣助成」「外国人研究者交流助成」のお知らせ

情報科学の国際交流推進事業の一環として、研究者の国際的研究交流に要する費用の一部を助成しています。渡航時期によって募集期は年3期に分かれています。応募の資格、方法、締切日等詳細は下記にお問い合わせください。

- 照会先 〒107 東京都港区南青山5-10-5 九曜ビル903
情報科学国際交流財団 E-mail: iist@is.s.u-tokyo.ac.jp
Tel(03)5466-1761 Fax(03)5466-1762

○神奈川科学技術アカデミー「平成10年度研究助成募集」のお知らせ

先端科学技術分野の創造的基礎研究に対して助成を行います。詳細は下記にお問い合わせください。

- 応募資格 神奈川県在住または在勤の若手研究者(おおむね40歳以下)
- 応募締切 平成10年3月10日(火)必着
- 照会先 〒213-0012 川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP西棟6F
(財)神奈川科学技術アカデミー交流普及課
Tel(044)819-2032 Fax(044)819-2026

○大川情報通信基金「1998年度研究助成」のお知らせ

高度情報社会の発展と振興のため、情報・通信に関する調査・研究を助成しています。詳細は下記にお問い合わせください。

- 応募締切 平成10年3月15日(日)必着
- 照会先 〒163-0227 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル27F(株)CSK内
(財)大川情報通信基金事務局
E-mail: OOKAWAKIKIN_KD@cii.csk.co.jp
Tel(03)5321-3958 Fax(03)5321-3959
http://www.csk.co.jp/tof/fdnj000.html

◆第30回「ストカスティックシステム国際シンポジウム」

- 1. 1998年11月4日(水)~6日(金) 2. 京大会館(京都市左京区)
- 3. 片山(京大工学研) Tel(075)753-5502 Fax761-2437

○計算科学技術ソフトウェア研究開発提案募集

ソフトウェアについて並列処理のための基盤技術の研究開発とそれに関連した応用研究、基礎研究を組織的に推進しています。平成10年度は(1)一般、(2)大学院生のうち、(1)一般についてのみ公募します。詳細は<http://www.jaeri.go.jp>の採用情報をご覧ください。

応募資格 大学、国立試験研究機関、特殊法人、民間企業などに所属する研究者またはそのグループ。

- 募集締切 平成10年3月16日(月)
- 照会先 〒153-0061 東京都目黒区中目黒2-2-54
金属材料技術研究所 51号庁舎内
日本原子力研究所 計算科学技術推進センター
E-mail: info@koma.faeeri.go.jp
Tel(03)5723-2504 Fax(03)5723-2537

○平成10年度技術士第二次試験(国家試験)のお知らせ

受験資格、日程・場所等の詳細は下記にお問い合わせください。
試験科目 19技術部門の内、情報工学部門は(1)必須科目: 情報工学一般、(2)選択科目: 情報システム、情報数理および知識処理、情報応用、電子計算機システム(1科目選択)です。

- 受付期間 平成10年3月23日(月)~4月3日(金)(土曜日・日曜日を除く)
- 照会先 〒105 東京都港区虎ノ門4-1-20 田中山ビル8F
(社)日本技術士会 技術士試験センター
Tel(03)3459-1333

○高度情報化支援ソフトウェアシーズ育成事業における研究開発テーマの募集について

情報処理振興事業協会(IPA)では、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、国からの出資を受けて、従来からソフトウェア技術の抜本的なレベルアップを図ることを目的とする「高度情報化支援ソフトウェア育成事業」を実施しています。

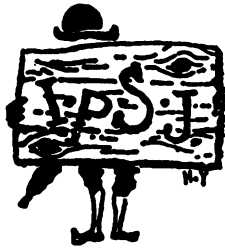
このたび、この事業の一環として、デファクトスタンダード(事実上の標準)に発展する可能性の高い技術シーズをはじめ、独創的な技術シーズの掘り起こしなど情報技術フロンティアの拡大に寄与することを目的として、「高度情報化支援ソフトウェアシーズ育成事業」の公募を行うことになりました。

本公募の情報はインターネット(<http://www.ipa.go.jp/>)でも提供しておりますが、ご質問などございましたら、下記までFaxまたは電子メールにてお問い合わせください。

- 照会先 情報処理振興事業協会技術応用事業部
「高度情報化支援ソフトウェアシーズ育成事業」公募担当 高橋、大河内
〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-22-1
秀和芝公園三丁目ビル2F
E-mail: wakate@adm.ipa.go.jp
Tel(03)5470-1792 Fax(03)5470-1795

寄贈図書一覧

- (97-78) 守屋悦朗(著): “チューリングマシンと計算量の理論”, 261p, (株)培風館, (1997-11): 3,500円+税
- (97-79) 山田誠二(著): “適応エージェント”, 158p, 共立出版(株), (1997-11): 2,400円+税
- (97-80) 国際電気通信連合(原著者), 和田 裕(監修): “ネットワークへの挑戦 電話事業とインターネット”, 110p, (財)日本特許情報機構, (1997-12): 2,600円
- (98-1) 柴山 潔(著): “ハードウェア入門”, 153p, (株)サイエンス社, (1997-12): 1,400円+税
- (98-2) ローラ・リメイ, アーマン・ダニッシュ(著), 武倉 広幸, 久野 禎子, 久野 靖(訳): “HTML入門第2版 WWWページの作成と公開”, 682p, (株)プレントリスホール出版, (1998-1): 3,800円



第426回理事会

日時 平成9年12月25日(木) 16:30~18:45
 会場 情報処理学会会議室
 出席者 戸田会長, 高橋, 堀越各副会長, 片岡信, 白鳥, 杉本, 杉山, 諏訪, 藤林, 牧之内, 村上, 片岡雅, 釼重, 坂井, 阪田, 鈴木, 東田, 水野, 宮原各理事, 千葉, 林各監事, 安西調査研究運営委員長
 (委任状による出席) 上林理事
 (事務局) 飯塚事務局長ほか4名

議題(資料)

1. 承認事項

- 承-1 平成9年12月18日(現在)会員入退会状況

正会員	26,931(名)	} 28,681(名)
学生会員	1,747	
海外会員	3	
賛助会員	432(社)	556(口)

2 平成9年11月分収支状況
 3 国内会議協賛・後援等依頼
 4 シンポジウム等の開催願い
 5 国際会議協賛・後援等依頼
 以上5件を承認。

2. 審議事項

- 審-1 平成10年度の新規事業計画の提出について
 [付] 平成10年度事業計画および予算作成等日程(案)
 2 広告取得への協力をお願い等について
 広告取得目標額, 新規先開拓, 一般からの人材募集広告の受付, 大口賛助会員名の学会ホームページへの掲載等を決定。
 3 新しい研究会論文誌の発行についての会告案
 4 事務局職員(管理職)の採用について

3. 報告事項

- 総-1 平成9年11月期開催会議
 2 平成10年度役員選挙の理事会推薦候補を決定した。
 副会長 稲垣 康善(名大) 松下 温(慶大)
 監事 土居 範久(慶大) 増永 良文(図書館情報大)
 理事
 教育 徳田 英幸(慶大) 富田 眞治(京大)
 西尾章治郎(阪大) 根本 義章(東北大)
 安田 浩(東大) 吉澤 康文(農工大)
 製造 大河内正明(日本IBM)
 釜江 尚彦(ヒューレットパッカード)
 上林 憲行(富士ゼロックス)
 河田 亨(シャープ) 小町 祐史(松下電送)
 宮西洋太郎(三菱)
 利用他 江原 暉将(NHK) 大蒔 和仁(電総研)
 岡本 吉晴(三菱総研)
 工藤 育男(ジャストシステム)
 3 理事, 委員の旅費の現状について
 4 将来ビジョン推進委員会重点実施事項の進捗状況
 「情報化社会の発展に向けた提言」について
 機-1 第238回学会誌編集委員会議事録(抜粋)
 2 第3回学会誌編集会議議事録
 3 第224回論文誌編集委員会議事録(抜粋)
 事-1 第56回全国大会講演申込状況
 出-1 第4回電子化専門委員会タスクフォース議事録
 2 システムの移行について

- 3 タスクフォース進行状況
 規-1 第123回規格役員会議事録(抜粋)
 国-1 第2回IFIP委員会議事録(抜粋)
 2 IEEE-CS打合せ資料
 他-1 創造科学技術推進事業「リーダー」のアンケート回答について
 2 日本工学会“政策委員会”の体制と委員構成
 3 工学教育プログラムの質の向上を目指す評価・認定システムに関するアンケートについて



採録原稿

情報処理学会論文誌

平成10年1月の論文誌編集委員会で採録された論文は次のとおりです(カッコ内は寄稿年月日)。

- ◇加藤 伸子, 狩野 均, 西原 清一: 群化を用いた3次元仮想空間のための高速表示法 (96.5.22)
 ◇中川 聖一, 大谷 耕嗣: Bigramの使用による話し言葉用確率文脈自由文法の自動学習 (96.12.13)
 ◇馬場 義昌, 厚井 裕司, 藤井 照子, 井手口 哲夫, 妹尾 尚一郎, 矢部 正行: FDDIネットワークにおけるRSVP適用方式の提案と評価 (97.3.13)
 ◇檜垣 博明, Takayuki Tachikawa, Makoto Takizawa: Checkpoint and Rollback in Asynchronous Distributed Systems (97.3.24)
 ◇森本 真一: 正規右辺文法のLALRパーサの新しい実現法 (97.3.25)
 ◇松野 浩嗣, 戎井 徹, 安藤 宏行: CTMA方式における中央局機能向上の効果 (97.3.26)
 ◇前田 康成, 浮田 善文, 松島 敏泰, 平澤 茂一: 学習期間と制御期間に分割された強化学習問題における最適アルゴリズムの提案 (97.3.31)
 ◇徐 良為, 武市 正人, 岩崎 英哉: 関係代数によるUNITYループの意味づけ (97.4.1)
 ◇管 輝, Tatsuo Torii: An Interactive Method for Designing Smooth Convex Curves by Using a Cubic B-spline Formulation (II) (97.4.14)
 ◇Hiroshi Gomi, Michio Oyamaguchi, Yoshikatsu Ohta: On the Church-Rosser Property of Root-E-overlapping and Strongly Depth-Preseving Term Rewriting Systems (97.4.14)
 ◇今津 由加里, 伊藤 裕一郎, 山田 雅之, 宮崎 剛, 世木 博久, 伊藤 英則: 編物操作の記号表現とその可視化への応用 (97.4.16)
 ◇丸山 勝久, 島 健一: 部品変更履歴に基づく重み付き依存グラフを用いた部品の洗練 (97.4.30)
 ◇樋口 昌宏, 小原 勝, 中石 敬治, 藤井 護: 通信プロトコル適合性試験におけるレジスタ操作に対する試験系列の生成手法 (97.5.12)
 ◇水野 健太郎, 中田 明夫, 岡野 浩三, 東野 輝夫, 谷口 健一: 遷移の選択が状態訪問回数で決まる有限状態機械対からなる通信系に対する生存性の検証 (97.5.12)
 ◇吉原 貴仁, 堀内 浩規, 杉山 敬三, 小花 貞夫: OSI管理における管理情報ベース(MIB)のアクセス制御アルゴリズム (97.5.12)
 ◇寺田 真敏, 芳原 誠士, 村山 優子: 組織間網環境におけるアクセス制御方式 (97.5.12)
 ◇端山 貴也, 清木 康: 協調型同期方式によるメディア間同期とその実現方式 (97.5.14)
 ◇富松 剛, 金田 康正: 一般化した二重指数分割に基づく数値表現法 (97.5.15)
 ◇Yahe Li, 田中 譲: メタデータの管理に基づくビデオデータベースの構成 (97.6.4)
 ◇手塚 悟, 藤城 孝宏, 本林 繁: パソコンLANシステムにおける遠隔構築支援ツール: Remote Easy Installer (97.6.10)
 ◇高橋 大介, 金田 康正: 分散メモリ型並列計算機による2, 3, 5基

- 底一次元FFTの実現と評価 (97.6.20)
- ◇杉浦 淳, 古関 義幸: 操作例スライシングに基づく例示インタフェース (97.6.26)
- ◇河原 達也, 田中 克明, 堂下 修司: 音声言語を用いた仮想空間との対話による試着システム (97.6.27)
- ◇伊藤 英一, 大橋 正洋: 視線移動を考慮した頸髄損傷者用ペン型ポインティングデバイス (97.6.27)
- ◇菅原 一孔, 林原 啓二, 小西 亮介: デジタル回路の記号解析に適した言語的な記述方法 (97.6.27)
- ◇城塚 音也, 桑田 喜隆, 安地 亮一, 小泉 宣夫: 遠隔会議を対象にした音声対話モニタリングによる対話支援システム (97.6.30)
- ◇野間 春生, 宮里 勉: 協調仮想物体操作のための力覚を用いたインターフェースの試作 (97.6.30)
- ◇舟橋 健司, 安田 孝美, 横井 茂樹, 鳥脇 純一郎: 仮想空間における両手による協調操作モデル (97.6.30)
- ◇山田 武志, 中村 哲, 鹿野 清宏: マイクロホンアレーを用いた発話者方向検出によるハンズフリー音声認識 (97.6.30)
- ◇豊田 正史, 高橋 伸, 柴山 悦哉: Mochi Sheet: 大規模なビジュアルプログラムの効率的編集を支援するズームインインタフェース (97.6.30)
- ◇山口 弘純, 岡野 浩三, 東野 輝夫, 谷口 健一: 時間ベトリネットの拡張モデルを用いたプロトコル合成 (97.6.30)
- ◇徳田 昌見, 奥村 学: 日本語から手話への機械翻訳における手話単語辞書の補完方法について (97.6.30)
- ◇山本 英里, 中村 哲, 鹿野 清宏: HMMを用いた音声からの唇動画像合成法 (97.7.1)
- ◇澤田 秀之, 橋本 周司, 松島 俊明: 運動特徴と形状特徴に基づいたジェスチャー認識と手話認識への応用 (97.7.2)
- ◇渡辺 富夫, 大久保 雅史: コミュニケーションにおける引き込み現象の生理的側面からの分析評価 (97.7.3)
- ◇三浦 信幸, 高橋 克巳, 島 健一: 個人適応型WWWにおけるユーザモデル構築法 (97.7.7)
- ◇黒須 康雄: 線分と疑似濃淡の保存を考慮した文書画像の倍率変換法 (97.7.14)
- ◇大月 美佳, 瀬川 淳一, 吉田 紀彦, 牧之内 顕文: デザインパターンのSGMLに基づく構造化文書化とその閲覧 (97.7.22)
- ◇川本 真一, 伊藤 貴康: スティール評価法を備えたPaiLispシステムの実現とその評価 (97.7.24)
- ◇小山 雅史, Masao Fuketa, 岡田 真, 青江 順一: 格構造解析における概念階層の効率的判定アルゴリズム (97.7.28)
- ◇有田 健, 森田 和宏, 溝渕 昭二, 青江 順一: 特徴ベクトルによる全文検索の一改善法 (97.7.30)
- ◇Yoshifumi Masunaga: Re-examination of Allen's Interval-Based Temporal Logic (97.8.29)
- ◇梶津 耕司, 上原 邦昭, 田中 克己: 時刻印付オーサリンググラフによるビデオ映像のシーン検索 (97.8.29)
- ◇Roberto Okada, Eun-Seok Lee, Tetsuo Kinoshita, Norio Shiratori: A Method for Personalized Web Searching with Hierarchical Document Clustering (97.8.29)

- ◇前田 亮, Myriam Dartois, 太田 純, 藤田 岳久, 阪口 哲男, 杉本 重雄, 田畑 孝一: クライアントにフォントを必要としない多言語HTML文書ブラウジングシステム (97.9.1)
- ◇岩崎 英哉, 胡 振江: 蓄積指数を持つ関数プログラムの融合変換 (97.9.3)
- ◇黒田 満, 倉賀野 哲造, 久保 哲夫: 曲率連続な対数ラセンスプライン補間曲線 (97.9.4)
- ◇松下 誠, 飯田 元, 井上 克郎: Webを用いたソフトウェア開発環境のためのプロセスモデリング (97.9.19)
- ◇双紙 正和, 加藤 丈治, 前川 守: 分散環境における、プロキシを利用した柔軟なセキュリティ制御 (97.9.22)
- ◇千石 靖, 岡本 栄司, 服部 進実: コンピュータウィルスの拡散と消滅の大域的振舞い (2) - ワクチンを持たないノードがある場合 - (97.10.31)



新規入会者

平成10年1月の理事会で入会を承認された方々は次のとおりです (会員番号, 敬称略)。

【正会員】 伊藤 雅, 植田 正彦, 大内 洋三, 奥田荘一郎, 太田 聡, 太田 充, 小野 浩, 甲斐 充彦, 春日 史朗, 川上 好弥, 栗山 和子, 坂戸 博之, 椎木 孝斉, 白井 治彦, 武田 勝彦, 程 宇, 手塚 満, 辻 達之, 徳永 雄一, 長久 勝, 長山 格, 西川武一郎, 樋口 和則, 牧野 正行, 松本 隆行, 増田 千晴, 宮腰 隆, 宮崎 保光, 村田 正幸, 村田 正男, 山上 達也, 吉田万里子, 鷲崎 早雄, 北本 朝展, 永山 則之, 岩瀬 詔子, 伊藤 克亘, 山本 充夫, 横田 誠, 中島 基樹, 大塚 彰, 隈 正雄, 西村 恒雄, 吉田 利夫, 長谷川まりか, ソウ エンキヤット. (以上46名)

【学生会員】 生田 大介, 伊藤 等, 栢木 紀哉, 近藤 充, 坂本 臣樹, 鈴鹿 倫之, 高山 和英, 田村 陽介, 杜 孝平, 内藤 亮, 中田 栄, 難波 功次, 二宮 茂樹, 野路浩一郎, 野村伊知郎, 長谷川 剛, 長谷川康雄, 東原 智幸, 廣嶋 恭一, 福島 貴弘, 藤本 博久, 古川 哲, 三竹 大輔, 松本 馨, 山内 敦, 山本 英雄, 澤田 崇, 堤 宏智, 西村 幸喜, 山根 真人, 大河原秀朗, 武野内康寛, 鍋木 康宏, 福田 政美, 宇佐 治彦, 松浦健一郎, 小川 創生, 戸澤 靖仁, 榎本 繁, 中村 一博. (以上40名)

【賛助会員】 (財) ソフトウェア情報センターソフトウェア特許情報センター. (以上1社)

【死亡退会者】

小林 豊君 京都府京都市山科区四宮川原町31-10
ご逝去の訃音に接しここに謹んで哀悼の意を表します。

事務局だより

長引く不況や多発する異常犯罪, 最近特に注目を集めている環境問題といったさまざまな社会的不安の多い世の中, 昨年は邦画が異例の大ヒットとなったそうです. 自然と人間の共存という人類に不変のテーマを追求して, 人々の感動を呼んだ, アニメ映画「もののけ姫」は山の森を守る神々と生活のために森を切り開く人間との壮絶な死闘を描いた作品です.

私がこの作品から感じたことは, 「現実を受け入れて, 真剣に前向きに生きる」という強いメッセージでした. そして, 「生きる」という意味を改めて考えさせられました.

私は情報規格調査会で国内委員会業務を担当していますが, ここ数年で委員会の運営もだいぶ変わってきました. 電子化が

進み, 海外から到着するドキュメントも紙からディスクトへ, そして最近では電子メールで到着するようになり, 委員会によってはFTPサーバからダウンロードして文書を取り出すところも増えてきました. そのためにも, システムの充実と個人のレベルアップに努め, 今後も事務局として委員会からの要求をできるだけ受け入れられるようにしていきたいです.

時代の変化に戸惑いを感じることは多々ありますが, 「案ずるより産むが易し」とにかく実行あるのみ. いつでも前向きでいようと思います.

(中村幸子/情報規格調査会)

有 料 会 告 に つ い て

本会の共催行事および協賛・講演記事の次第書（論文募集，参加案内など）の会告欄掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。なお，会議案内欄への掲載については従来どおり無料です。

記

1. 掲載条件

件 名	内 容	掲載単位	掲載料金（消費税別）	
論文募集 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集に限る。	1ページ または 1/2ページ	(共催)	
			1ページ	50,000円
			1/2ページ	30,000円
			(協賛)	
1ページ	100,000円			
1/2ページ	50,000円			
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関，企業の人材募集	10行程度	(国公立教育機関，国公立研究機関)	
				20,000円
			(賛助会員（企業）)	30,000円
			(賛助会員以外の企業)	50,000円

2. 申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

3. 原稿の書き方

●行事次第書：原則としてA4判カメラレディとします。

(1ページ) 天地250mm × 左右160mm (1/2ページ) 天地120mm × 左右160mm

* A4判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。なお，原稿作成にあたり様式（字の大きさ，ゴシックなど）については，本会会告記載内容をご参照願います。

また，フロッピーディスクまたはE-mailでも受け付けますので，ご相談ください。

●人材募集：次の項目を明記し，E-mailまたはFax，郵送にてお送りください。

* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

[募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]

4. 申込期限

毎月15日を締切日とし翌月号（15日発行）に掲載します。

5. 掲載料金

掲載号発行後に料金を請求いたしますので，その翌月末までにお支払いください。

6. 掲載申込先

社団法人 情報処理学会 有料会告係

〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

E-mail:editj@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534

平成10年度 研究会・研究グループのお知らせ

平成10年度は、下記のとおり29研究会(新設(2)), 1研究グループで活動します。各研究会の活動については、各研究会のホームページ、研究発表会一覧(本号会告欄)、シンポジウム一覧(本号会告欄)等をご参照ください。また新たに研究会による論文誌の発行(詳細は本号会告欄掲載)も開始されますので、併せてご参照ください。

◆研究会(◇研究グループ)名(略称) 英称(研究会: The Special Interest Groups, 研究グループ: The Study Groups)
主査, 幹事 [取扱う研究分野の例] 研究会ホームページ
◇分科会等の活動(リーダー) [キーワード等]

<コンピュータサイエンス領域>

◆データベースシステム (DBS) DataBase System <http://www.db.cs.kobe-u.ac.jp/IPSJ-DBS/>
主査: 田中克己(神戸大), 幹事: 赤間浩樹(NTT), 有川正俊(広島市立大), 原嶋秀次(東芝)
[・DBMS技術・データモデリング・情報検索・ハイパーテキスト/ハイパーメディア・マルチメディアDB
・DB高度応用]
◇高性能DB技術分科会(横田治夫(北陸先端大), 原田リリアン(富士通))
◇データマイニングと情報組織化・視覚化分科会(河野浩之(京大), 磯部成二(NTT))
◇情報検索とハイパーテキスト分科会(吉川正俊(奈良先端大), 木谷 強(NTTデータ))
◇マルチメディアDB・コンテンツ処理と時空間DB分科会(清木 康(慶大), 嶋田 茂(日立))
◇オブジェクト・エージェント・協調型DB分科会(北川博之(筑波大), 石川 博(富士通研))
◇ネットワークとDB分科会(下條真司(阪大), 佐藤哲司(NTT))

◆ソフトウェア工学 (SE) Software Engineering <http://www.comp.ae.keio.ac.jp/lab/iijima/sigse.html>
主査: 玉井哲雄(東大), 幹事: 上原三八(富士通研), 岸 知二(NEC), 佐伯元司(東工大)
[要求定義/設計技法, 保守, 形式的仕様, 開発管理, プログラム開発法, メトリックス, 検査/検証, 信頼性,
ソフトウェア開発支援環境/CASE, 標準化, 再利用/プログラム合成, 人的要因/教育, ソフトウェア開発モデル,
知能処理技術のソフトウェア工学への応用]
◇ドメイン分析・モデリングWG(廣田豊彦(九工大)) [ドメインモデル, システム開発, ドメイン分析プロセス]

◆計算機アーキテクチャ (ARC) computer ARChitecture (ホームページ未開設)
主査: 中島 浩(豊橋技科大), 幹事: 児玉祐悦(電総研), 中田登志之(NEC), 宮田裕行(三菱電機)
[計算機システム, アーキテクチャ全般, ソフトウェア・システム(OS・コンパイラ・ツール)とのインタフェース,
並列処理アーキテクチャ, VLSI アーキテクチャ]

◆システムソフトウェアとオペレーティング・システム (OS) system software and Operating System
<http://avenue.tutics.tut.ac.jp/OS/CS96.html>
主査: 徳田英幸(慶大), 幹事: 石川 裕(RWCP), 柴山茂樹(キヤノン), 並木美太郎(農工大)
[システム性能評価, オペレーティングシステム, ネットワーク実現技術, ネットワークプロトコル,
サーバ実現技術, リアルタイムシステム, 言語処理系, ネットワークセキュリティ, モバイルコンピューティング,
コンピュータの新機能とサポートソフトウェア]

◆設計自動化 (DA) Design Automation <http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/SIGDA/>
主査: 今井正治(阪大), 幹事: 寺井正幸(三菱電機), 中田恒夫(富士通研), 若林真一(広島大)
[集積回路から装置システムまでの設計自動化技術: エレクトロニクスのDA/CAD全般, 設計手法, システム/
アーキテクチャ設計支援, ハードウェア/ソフトウェア協調設計, 機能/論理合成, 設計検証, テスト設計自動化,
レイアウト設計, レイアウト検証, アナログCAD, 低消費電力設計支援, 設計環境, CADハードウェアなど]

◆ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC) High Performance Computing <http://phase.etl.go.jp/sighpc/>
主査: 佐藤三久(RWCP), 幹事: 須田礼仁(名大), 妹尾義樹(NEC), 朴 泰祐(筑波大)
[計算科学(数値計算)/シミュレーションの理論と実際(モデル化, アルゴリズム, 品質保証),
高速・高性能アーキテクチャ・システム(超並列WS), 利用技術/性能評価と提言,
計算と計算機を結ぶ技術(可視化, 言語, データ配置, 最適化, デバックツールなど)]

◆プログラミング (PRO) PROgramming

学会ホームページ(<http://www.ipsj.or.jp/sig/sighome.html>)からたどれます

主査: 上田和紀 (早大), 幹事: 石畑 清 (明治大), 伊知地宏 (富士ゼロックス), 天海良治 (NTT)
[プログラミング言語の基本概念, 設計原理, 実装技術, プログラミング方法論, プログラミング環境,
その他プログラミングに関する面白い話題]

◆アルゴリズム (AL) Algorithms

(ホームページ未開設)

主査: 加藤直樹 (京大), 幹事: 田中圭介 (NTT), 玉木久夫 (明治大), 松井知己 (東大)
[・グラフ, ネットワーク等に関するアルゴリズム ・計算幾何学と計算代数学 ・データ構造
・暗号, 符号等の数論的アルゴリズム ・確率アルゴリズムと近似アルゴリズム ・計算複雑度理論
・分散, 並列アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム ・アルゴリズムの応用と実用]

◆数理モデル化と問題解決 (MPS) Mathematical Modeling and Problem Solving

<http://al.ei.tuat.ac.jp/mps/index.html>

主査: 中森真理雄 (農工大), 幹事: 白石洋一 (群馬大), 城 和貴 (和歌山大), 古瀬慶博 (三菱SPA-ソフトウェア)
[・数理モデル化全般と解法 ・モデル化の教育 ・各種モデルの実用的応用 (人工生命手法, ゲームとモデル化,
並列処理とモデル化, 等)]
◇数理モデル化と応用論文誌 WG (白石洋一) [1. 数理計画法, グラフ理論, ネットワークフロー理論, 逆問題等
2. 回路・VLSI, スケジューリング, 流通・トラフィック, 並列・分散処理, 流体・剛体解析, ゲノム等の数理モデル化応用]
◇シンポジウム論文誌 WG (城 和貴) [ゲーム工学, ゲーム理論, ヒューマン・インタフェース, CG 等]

<情報環境領域>

◆マルチメディア通信と分散処理 (DPS) Distributed Processing System

<http://takilab.k.dendai.ac.jp/~tachi/dps/>

主査: 滝沢 誠 (東京電機大), 幹事: 齋藤正史 (三菱電機), 玉置政一 (NTT データ), 東野輝夫 (阪大)
[分散処理, 高速通信, コンピュータネットワーク, マルチメディア通信とその応用, プロトコル, ネットワーク管理,
エージェント通信, インターネット, などに関する技術]

◆ヒューマンインタフェース (HI) Human Interface

<http://sighi.tsuda.ac.jp/>

主査: 竹林洋一 (東芝), 幹事: 中内 靖 (防衛大), 浜田 洋 (NTT), 山本吉伸 (電総研)
[入出力デバイス, マルチモーダル, コミュニケーション, 言語, 情報検索, 教育, デザイン, 評価, エージェント,
社会システム, ヒューマンインタフェース全般]

◆グラフィクスとCAD (CG) Computer Graphics and CAD

<http://www.ipsj-gcad.on.cs.keio.ac.jp/>

主査: 近藤邦雄 (埼玉大), 幹事: 青野雅樹 (日本IBM), 小堀研一 (大阪工大), 斎藤隆文 (東京農工大)
[CGのソフトウェア, アルゴリズム, ハードウェア, 応用. GUI. 形状モデリング. アニメーション. アート.
可視化. 仮想現実感, CAD/CAM]

◆情報システムと社会環境 (IS) Information Systems

<http://world.std.com/~fujimoto/ipsj-sig-is/>

主査: 黒川恒雄 (國学院大), 幹事: 魚住 董 (--), 内木哲也 (東洋大), 辻 秀一 (ECom)
[1. 情報システムの分析・設計・構築・運用と利用 2. 知識・情報・データのマネジメント
3. 情報システムと人間・組織・社会との相互関連]

◆情報学基礎 (FI) Fundamental Infology

<http://www.info.waka.kindai.ac.jp/~www-nakagawa/fi-ipsj.html>

主査: 木本晴夫 (NTT), 幹事: 上田修一 (慶大), 太田敏澄 (電通大), 大山敬三 (学情センター)
[1. 情報の表現, 識別, 分類, 評価, 検索, 流通, 管理の手法.
2. 学習と発見による大量情報の知識化, 遺伝子情報, 生体情報
3. 大量のマルチメディア情報, 文字情報の処理, 電子図書館]

◆情報メディア (IM) Information Media <http://infomedia.dj.kit.ac.jp/>

主査：上林憲行 (富士ゼロックス)，幹事：小澤英昭 (NTT)，久保田晃弘 (---)，広瀬 真 (富士ゼロックス)
[デジタルネットワーク社会における新しい情報メディア生態系の創出を目的として、情報メディア生態 (創出・編集・流通)、デジタルメディア社会、情報経済、情報文化、メディア・身体空間、情報・知識のデザインを扱う]

◆オーディオビジュアル複合情報処理 (AVM) Audio Visual and Multimedia Information Processing
(ホームページ未開設)

主査：一之瀬進 (NTT)，幹事：児玉 明 (早大)，小谷野浩 (NTT)，松本修一 (KDD)
[1. 画像信号処理, HDTV 信号・低ビットレート処理・システム 2. 高音質音声処理・音場処理
3. メディアを相互に関連付けるハイパメディア技術・システム
4. B-ISDN, マルチメディア, ハイパメディアの国際標準化]

◆グループウェア (GW) Groupware <http://www.myo.inst.keio.ac.jp/~siggw/>

主査：岡田謙一 (慶大)，幹事：桑名栄一 (NTT)，星 徹 (日立)，宗森 純 (阪大)
[1. 協調基礎 (組織, 認知, 社会心理, 行動科学) 2. グループ応用 (意思決定, 協同設計, 発想, 教育)
3. グループワークインフラ (ワークフロー, グループ通信) 4. 分散オフィス 5. マルチユーザのインタフェース
6. 電子会議, 電子掲示板 7. 仮想環境におけるヒューマンインタラクション 8. エレクトリックコマース (EC)
9. 事例 10. その他]

◆分散システム運用技術 (** 改名を検討中 **) (DSM) Distributed System Management Technology
<http://dsm.slab.ntt.co.jp/>

主査：林 英輔 (山梨大)，幹事：岩原正吉 (金沢大)，箱崎勝也 (電通大)，堀越 彌 (日立情報システムズ)
[分散処理・インターネット環境下における合理的、かつ効率的なシステム運用技術としての
・コンピュータシステムの最適な構成・運用管理手法 ・コンピュータネットワークの運用・管理手法
・運用スタッフ, 利用者の教育手法]

◆デジタル・ドキュメント (DD) Digital Document <http://limu.is.kyushu-u.ac.jp/SigDD/index.html>

主査：山田尚勇 (中京大)，幹事：絹川博之 (日立)，空閑茂起 (シャープ)，福島敏高 (富士通)
[マルチメディア文書作成技術, CALS の活用, 検索と表示技術, デジタルライブラリー,
ネットワーク流通技術などのデジタルドキュメント関連の活用について]

◆モバイルコンピューティング (MBL) Mobile Computing <http://www.csl.sony.co.jp/~mb1>

主査：水野忠則 (静岡大)，幹事：小橋喜嗣 (NTT)，寺岡文男 (ソニー CSL)，渡辺 尚 (静岡大)
[モバイルコンピューティングの利用形態に関して、基礎となる理論・技術, 通信プロトコル,
コンピュータアーキテクチャ, OS, AP, 応用事例, さらには社会科学的考察を研究していく]

◆コンピュータセキュリティ (CSEC) *新設 Computer Security (ホームページ未開設)

主査：土居範久 (慶大)，幹事：岡本栄司 (北陸先端大)，佐々木良一 (日立)，林誠一郎 (NTT データ)
[コンピュータやネットワークにおけるセキュリティ対策と普及を目指した研究を行う。
具体的には、OS セキュリティ, ネットワークセキュリティ, データベースセキュリティ, アクセス制御, 個人識別,
暗号, 認証, セキュリティ評価・監査, ウィルス対策, 不正アクセス対策, ソフトウェア保護, プライバシ保護,
不正/有害情報のフィルタリング (PICS 等) など。]

◇システム評価研究グループ System Evaluation (ホームページ未開設)

主査：宮崎正俊 (東北大)，幹事：野瀬純郎 (NTT ソフト)，(未定)
[1. コンピュータや情報システムのソフトウェアおよびハードウェアの設計, 開発, 管理, 運営に関わるシステムの
使い易さ, コスト, 信頼性, 拡張性, 機能の豊かさ等のいろいろな側面からの評価に関する研究
2. 処理速度や効率に関するシステム性能評価の研究・性能評価のための測定技術, ツール, モデル化技法・総合的な
システム評価法の標準化・一般的なシステムの評価の方法・評価方法ならびに評価データについての研究方法]

<フロンティア領域>

◆**自然言語処理 (NL)** Natural Language <http://tokunaga-www.cs.titech.ac.jp/SIGNAL/index.html>

主査: 松本裕治 (奈良先端大), 幹事: 宇津呂武仁 (奈良先端大), 武田浩一 (日本IBM), 永田昌明 (NTT)
[言語資料・統計, 辞書, 文法, 形態素解析, 統語解析, 意味解析, 談話理解, 文生成, 対話, 言語知識表現・獲得, 機械翻訳, テキスト解析, その他言語解析の応用]

◆**知識と複雑系 (ICS)** Intelligence and Complex Systems <http://www.ymd.dis.titech.ac.jp/sug-ics/>

主査: 橋田浩一 (電総研), 幹事: 有馬 淳 (富士通研), 長尾 確 (ソニーCSL), 山田誠二 (東工大)
[知識表現, 推論, 学習, 対話, 複雑系の情報処理, 人工社会, 分散協調処理, 自己組織化, 自己言及システム, 人工生命, その他知能に関連するあらゆる事項]

◆**コンピュータビジョンとイメージメディア (CVIM)** Computer Vision and Image Media <http://vision.kuee.kyoto-u.ac.jp/CVIM/>

主査: 長谷川純一 (中京大), 幹事: 塩原守人 (富士通研), 中村裕一 (筑波大), 美濃導彦 (京大)
[計算機による視覚認識・視覚メディア処理:
画像処理, ロボットビジョン, 視覚モデル, 知的映像編集, 行動理解, 画像データベース検索, 各種応用システム等]

◆**コンピュータと教育 (CE)** Computers in Education <http://www.ita.tutkei.tut.ac.jp/kawai/ipsj-sigce/>

主査: 武井恵雄 (帝京大), 幹事: 角 行之 (日立), 河村一樹 (宮城大), 小林 修 (産能大)
[1. 情報教育の諸問題: 小・中・高校での情報教育, 大学・企業での教育・再教育・生涯教育カリキュラム,
2. コンピュータ活用教育: 教育のための開発, 実験, 評価, 創意工夫.]

◆**人文科学とコンピュータ (CH)** Computer and Humanities <http://syllab.nichibun.ac.jp/sigch/>

主査: 山田奨治 (国際日本文化研究センター), 幹事: 加納千恵子 (筑波大), 北風晴司 (NEC), 坂谷内勝 (国立教育研)
[人文科学分野へのコンピュータ応用をめざした
1. ハード・ソフトの開発・事例 2. 研究手法 (処理技術) の開発・事例 3. 学際的研究や理論的研究]

◆**音楽情報科学 (MUS)** MUSIC and computer <http://www.hamamatsu-pc.ac.jp/SIGMUS/>

主査: 平賀 譲 (情報大), 幹事: 松島俊明 (東邦大), 村尾忠廣 (愛知教育大), 葉 孝之 (国立音楽大)
[計算機技術と音楽双方に関連した領域: 計算機の介在した作曲/編曲/演奏/伴奏, 電子楽器, 音楽信号処理,
AIと音楽, 音楽の認知/知覚/感知情報, 音楽情報処理システム, 音楽学や音楽芸術と計算機技術]

◆**音声言語情報処理 (SLP)** Spoken Language Processing <http://www.mic.atr.co.jp/SLP/index.html>

主査: 新田恒雄 (東芝), 幹事: 小林哲則 (早大), 嵯峨山茂樹 (NTT), 畑岡信夫 (日立)
[1. 音声言語情報処理 (音声の分析・加工・合成・認識・理解, 話し言葉の解析・解釈・生成)
2. 音声言語処理システム (ディクテーション, 音声対話, 音声翻訳)
3. 音声インタフェースと音声技術の応用]

◆**電子化知的財産・社会基盤 (EIP)** Electronic Intellectual Property <http://sda.k.tsukuba-tech.ac.jp/sig-eip/>

主査: 森 亮一 (神奈川工科大), 幹事: 工藤育男 (ジャストシステム), 名和小太郎 (関西大), 松本恒雄 (一橋大)
[知的財産権問題, 倫理問題, 電子図書館, エレクトロニックコマース, セキュリティ技術など]
◇エレクトロニックコマース分科会 (池田 誠 (会津大))

- ・領域制については, 学会ホームページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) に掲載していますのでご参照ください。
- ・年間を通して参加される場合は登録をお願いします。登録されていない会員は研究発表会当日, 資料代をいただきます。
- ・学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして, 「研究会準登録者制度」を設けております。詳細等については, 事務局研究会担当までお問合せください。

平成10年度 研究会・研究グループ研究発表会開催予定

研究会活動の充実、活性化の目的から研究発表会の開催回数を絞り、シンポジウムや国際会議等の活動を計画する研究会もありますので、本欄シンポジウム等の行事予定も併せてご覧ください。

＜コンピュータサイエンス領域＞ (平成10年1月8日現在)

◆研究会・◇研究グループ名(略称)	開 催 日	会 場 他
◆データベースシステム (DBS)	5月14日(木)・15日(金) ◎ 7月 1月	東京電力(横浜) (*FIと一部合同・連続) ※マルチメディア情報検索と情報流通, および一般 未 定 東 京
◆ソフトウェア工学 (SE)	5月15日(金) 7月23日(木)・24日(金) 11月5日(木)・6日(金) 3月18日(木)・19日(金)	上智大学 佐 渡 学会会議室(芝浦) 学会会議室(芝浦)
◆計算機アーキテクチャ (ARC)	5月15日(金) 8月 ◎ 9月17日(木)・18日(金) 3月	松下電器松心会館(門真市) ※プロセッサとアーキテクチャ一般 長岡市-SWoPP'98- 九州情報システム技術研究所(*DAと合同) 札 幌-Hokke'99- (*HPC, OSと連続)
◆システムソフトウェアと オペレーティング・システム (OS)	◎ 5月7日(木)・8日(金) 8月 3月	沖縄ホテルムーンビーチ ※マルチメディアネットワーク社会(inter, intra, extranets)の システムソフトウェアならびに応用技術 長岡市-SWoPP'98- 札 幌-Hokke'99- (*ARC, HPCと連続)
◆設計自動化 (DA)	5月22日(金) ◎ 9月17日(木)・18日(金) ◎ 12月10日(木)・11日(金) ◎ 2月4日(木)・5日(金)	学会会議室(芝浦) 九州情報システム技術研究所(*ARCと連続) 広島大 機械振興会館
◆ハイパフォーマンス コンピューティング (HPC)	5月15日(金) 8月 10月9日(金) 12月11日(金) 3月中旬	新情報処理開発機構 長岡市-SWoPP'98- 東北大 NEC(三田) 札 幌-Hokke'99- (*ARC, OSと共催)
◆プログラミング (PRO) **	6月19日(金) 8月 10月 ◎ 1月 3月	学会会議室(芝浦) ※言語の設計と実装 長岡市-SWoPP'98- 未 定 ※理論 東 京 ※並列 東 京 ※プログラミング言語一般
◆アルゴリズム (AL)	5月20日(水) 7月22日(水) 9月16日(水) 10月28日(水) 1月27日(水) 3月17日(水)	東 大 茨城大(*MPSと連続) 京 大 徳島大 豊橋技科大 日立(基礎研)
◆数理モデル化と問題解決 (MPS)	5月22日(金) 7月24日(金) 10月7日(水) 11月27日(金) 2月12日(金)	東京農工大 茨城大(*ALと連続) 名古屋 和歌山 福 岡

<情報環境領域>

◆研究会・◇研究グループ名(略称)	開催日	会場他
◆マルチメディア通信と分散処理 (DPS)	4月23日(木)・24日(金) 6月3日(水)・4日(木) 9月17日(木)・18日(金) 1月28日(木)・29日(金) 2月25日(木)・26日(金)	横浜 阪大 岩手県立大(*CSECと合同) 中国四国地区 NTTデータ(東京)
◆ヒューマンインタフェース (HI)	5月15日(金) 8月21日(金) 10月16日(金) 12月11日(金) 1月29日(金)	東京近郊 ATR 箱根(*SLPと合同) 学会会議室(芝浦) 玉川大
◆グラフィクスとCAD (CG)	4月24日(金) 8月20日(木)・21日(金) 10月 12月10日(木) 2月26日(金)	学会会議室(芝浦) ※仮想環境の生成と表示 琵琶湖周辺 -夏の集中研究集会- 北大 学会会議室(芝浦) ※キャラクターアニメーションおよび一般 学会会議室(芝浦)
◆情報システムと社会環境 (IS) +名称変更(旧:情報システム)	7月21日(火) 10月 3月16日(火)	学会会議室(芝浦) 愛知 東京
◆情報学基礎 (FI)	5月14日(木)・15日(金) 7月16日(木)・17日(金) 9月 11月	東京電力(横浜) (*DBSと一部合同・連続) ※7/16/17 情報検索と情報流通, および一般 和歌山大 東京近郊(*NLと合同 or 連続) 関東
◆情報メディア (IM)	7月9日(木)・10日(金) 11月19日(木)・20日(金)	北大 京大
◆オーディオビジュアル 複合情報処理 (AVM)	6月5日(金) 9月4日(金) 12月4日(金) 3月5日(金)	早大 富山大 早大 KDD(沖縄)
◆グループウェア (GW)	5月21日(木)・22日(金) 9月17日(木) 11月12日(木) 1月28日(木)・29日(金)	京大 学会会議室(芝浦) 学会会議室(芝浦) 東北大
◆分散システム運用技術 (DSM)	5月15日(金) 7月24日(金) 9月18日(金) 11月20日(金)	NEC(東京) 会津大 麗澤大 大分大
◆デジタル・ドキュメント (DD)	5月15日(金) 7月17日(金) ◎9月25日(金) 11月27日(金) ◎1月29日(金) 3月12日(金)	学会会議室(芝浦) 北大 学会会議室(芝浦) 関西情報センター 学会会議室(芝浦) 学会会議室(芝浦)
◆モバイル コンピューティング (MBL)	5月28日(木)・29日(金) 9月11日(金) 12月4日(金) 2月5日(金)	高知工科大 学会会議室(芝浦) 学会会議室(芝浦) 学会会議室(芝浦)
◆コンピュータセキュリティ (CSEC) *新設	5月29日(金) 9月17日(木)・18日(金) 11月27日(金) 2月 or 3月	学会会議室(芝浦) 岩手県立大(*DPSと合同) 学会会議室(芝浦) 関東甲信越
◇システム評価(研究グループ)	(詳細未定)	

<フロンティア領域>

◆研究会・◇研究グループ名(略称)	開催日	会場他
◆自然言語処理 (NL)	5月27日(水)～29日(金) ◎7月 9月 11月 1月 3月	湘南国際村(2会場) -FR領域合同開催- 京大 東大(*FIと一部合同) 九大 東京近郊 未定
◆知能と複雑系 (ICS)	5月27日(水)～29日(金) 7月 9月 ◎1月	湘南国際村(2会場) -FR領域合同開催- 北海道 学会会議室(芝浦) 九州
◆コンピュータビジョンと イメージメディア (CVIM)	5月27日(水)～29日(金) 9月17日(木) 11月19日(木) 1月21日(木) 3月18日(木)	湘南国際村(2会場) -FR領域合同開催- 東北or北陸地方 広島市立大 阪大 機械振興会館
◆コンピュータと教育 (CE)	5月27日(水)～29日(金) 7月31日(金) 11月13日(金) 2月23日(火)	湘南国際村(2会場) -FR領域合同開催- 宮城大 関西学院大 学会会議室(芝浦)
◆人文科学とコンピュータ (CH)	5月27日(水)～29日(金) 8月 10月 1月	湘南国際村(2会場) -FR領域合同開催- 神戸市 北海道 鳥取大
◆音楽情報科学 (MUS)	5月27日(水)～29日(金) 8月上旬 10月 12月 ◎2月18日(木)・19日(金)	湘南国際村(2会場) -FR領域合同開催- 北海道 中京地区 関西地区 NTT厚木研究センタ
◆音声言語情報処理 (SLP)	5月27日(水)～29日(金) 7月24日(金)・25日(土) 10月16日(金)・17日(土) ◎12月10日(木)・11日(金) 2月5日(金)・6日(土)	湘南国際村(2会場) -FR領域合同開催- ※言語モデル, ディクテーション, 一般 未定 ※Spontaneous Speechの認識・理解・解析, 音声対話 箱根静雲荘(*HIと一部合同) ※音声インタフェース, マルチモーダル 東工大 未定 ※音声インタフェース, 音声応用
◆電子化知的財産・社会基盤 (EIP) *新設	5月27日(水)～29日(金) 9月10日(木)頃 1月30日(土)頃	湘南国際村(2会場) -FR領域合同開催- 成蹊大 神奈川工科大

※:特集 ※(小):小特集 ◎:他学会との共催

** : プログラミング研究会は、従来の研究報告の代わりに研究会論文誌を研究会成果物として発行する新運営を行います。

注) 上記開催予定は平成10年1月8日現在のものです、日程、会場等は変更される場合があります。
学会誌最新号会告欄にてご確認ください。

-SWoPP '98- : 1998年並列/分散/協調処理に関するサマー・ワークショップ

各研究会8月開催のうち1日または2日にわたり並列・連続開催。

-Hokke '99- : ハイパフォーマンス・コンピューティングとアーキテクチャの評価に関する「北海道」ワークショップ

-FR領域合同開催- : フロンティア領域所属研究会による並列, 連続, 一部合同開催。

(参考)

・第57回全国大会(平成10年後期)平成10年10月5日(月)～7日(水)於名古屋大学

[個人新規専用]

平成 年 月 日

平成10年度研究会登録申込書

フリガナ
氏名 _____

会員 No. _____

<コンピュータサイエンス領域>

申込	略称	研究会名	登録費 (税込み) (円)	登録による予定配布物		
				研究 報告	研究会 論文誌	その他
	DBS	データベースシステム	4,830	3冊	4冊予定	—
	SE	ソフトウェア工学	4,830	4冊	—	シンポジウム論文集
	ARC	計算機アーキテクチャ	4,935	5冊	—	—
	OS	システムソフトウェアとオペレーティング・システム	4,935	3冊	—	—
	DA	設計自動化	4,935	4冊	—	—
	HPC	ハイパフォーマンスコンピューティング	4,515	5冊	—	—
	PRO	※プログラミング	2,415	—	3~5冊	—
	AL	アルゴリズム	4,935	6冊	—	—
	MPS	数理モデル化と問題解決	3,675	5冊	3冊予定	—

登録申込: _____ 件

合計金額: _____ 円

請求書: 要 (部) ・不要

問合せ先

Tel () _____

(ext. _____)

<情報環境領域>

	DPS	マルチメディア通信と分散処理	4,935	5冊	—	—
	HI	ヒューマンインタフェース	4,515	5冊	—	—
	CG	グラフィクスとCAD	4,200	5冊	—	—
	IS	+情報システムと社会環境	3,990	3冊	—	コミュニケーション誌
	FI	情報学基礎	4,095	4冊	4冊予定	—
	IM	情報メディア	4,200	2冊	—	—
	AVM	オーディオビジュアル複合情報処理	4,305	4冊	—	—
	GW	グループウェア	3,990	4冊	—	—
	DSM	分散システム運用技術	4,620	4冊	—	—
	DD	デジタル・ドキュメント	4,830	6冊	—	—
	MBL	モバイルコンピューティング	4,200	4冊	—	—
	CSEC	*コンピュータセキュリティ	4,410	4冊	—	—

■申込方法・注意事項

- ・下線部に必要事項、登録希望研究会の申込欄に○印を記入ください。
- ・ご登録された方には当該研究会の配布内容が次の通り郵送されます。
研究報告: 研究発表会開催翌月
研究会論文誌他: 各会告を参照
(配布内容は変更される場合があります)
- ・郵送先は学会誌と同様となります。
変更等は書面にて会員係までご連絡ください。
- ・本申込書は新規登録の方専用です。

<フロンティア領域>

	NL	自然言語処理	5,250	6冊	—	—
	ICS	知能と複雑系	4,200	4冊	—	—
	CVIM	コンピュータビジョンとイメージメディア	5,040	5冊	—	—
	CE	コンピュータと教育	3,990	4冊	—	—
	CH	人文科学とコンピュータ	4,410	4冊	—	—
	MUS	音楽情報科学	3,885	5冊	検討中	—
	SLP	音声言語情報処理	4,830	5冊	—	—
	EIP	*電子化知的財産・社会基盤	4,725	3冊	—	—

■申込/照会先

〒108-0023
東京都港区芝浦 3-16-20
芝浦前川ビル 7F
(社) 情報処理学会 研究会係
Tel (03) 5484-3535
Fax (03) 5484-3534
e-mail: sig@ipsj.or.jp

*: 「コンピュータセキュリティ研究会」と「電子化知的財産・社会基盤研究会」が新設されます。

※: 「プログラミング研究会」は、従来の研究報告の代わりに研究会論文誌を研究会成果物として発行する新運営を行います。

+ : 「情報システムと社会環境研究会 (旧名称: 情報システム)」は、研究報告の他に登録会員向けのコミュニケーション誌を発行予定です。

平成10年度 シンポジウム等行事予定一覧

平成10年度の主なシンポジウム等行事予定は以下のとおりです。詳細は順次学会誌会告欄にてお知らせいたします。なお、期日・会場等が変更されることもありますので、ご注意ください。

(平成10年1月8日現在)

名 称	開催日	場 所
○ソフトウェア工学国際会議併設シンポジウム (IWSSD)	H10. 4. 16 (木) ~18 (土)	伊勢志摩ロイヤルホテル
○第20回ソフトウェア工学国際会議 (ICSE98)	H10. 4. 19 (日) ~25 (土)	京都国際会館
●情報処理学会通常総会	H10. 5. 20 (水)	ニューサライイトホテル芝浦
◆コンピュータ音楽チュートリアル (MUS)	H10. 5.	東京近郊
◆1998年並列処理シンポジウム (JSPP98) (ARC 他)	H10. 6. 3 (水) ~ 5 (金)	名古屋国際会議場
◆グラフィクスとCADシンポジウム (CG)	H10. 6. 12 (金) ~13 (土)	早稲田大学
◆DICO98 シンポジウム (DPS, GW, MBL)	H10. 7. 8 (水) ~10 (金)	鹿児島県指宿
○アジア南太平洋地域コンピュータインタラクション (APCHI98)	H10. 7. 15 (水) ~17 (金)	湘南国際村
◆DAシンポジウム (DA)	H10. 7. 16 (木) ~18 (土)	遠鉄エスパール(浜松)
◆画像の認識・理解シンポジウム (MIRU98) (CVIM 他)	H10. 7. 29 (水) ~31 (金)	岐阜市未来会館
◆AVMシンポジウム (AVM)	H10. 7.	早稲田大学
○IFIP: ネットワーク時代の情報専門家教育国際会議	H10. 8. 23 (日) ~28 (金)	国際婦人教育会館
◆音声認識システム講習会 (SLP)	H10. 8.	会津大 or 豊橋技科大
◆オブジェクト指向'98 シンポジウム (SE)	H10. 9. 16 (水) ~18 (金)	東京
◆ヒューマンインタフェースプロフェッショナル4 (HI)	H10. 9. 11 (金) ~12 (土)	未定
◆情報メディアシンポジウム'98 (IM)	H10. 9. 24 (木) ~25 (金)	工学院大学
◇第57回全国大会	H10. 10. 5 (月) ~ 7 (水)	名古屋大学
◆コンピュータセキュリティシンポジウム'98 (CSEC)	H10. 10. 29 (木) ~30 (金)	広島
◆モバイルコンピューティングシンポジウム (MBL)	H10. 10.	NEC (東京)
◆マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (DPS)	H10. 11. 18 (水) ~20 (金)	会津若松
◆グループウェア'98 シンポジウム (GW)	H10. 11. 27 (金)	東京
◆コンピュータシステムシンポジウム (ARC, OS)	H10. 11.	琵琶湖
◆ゲームとモデル化 (MPS)	H10. 12. 14 (月) ~15 (火)	東京農工大学
◆アドバンスド・データベース・シンポジウム'98 (DBS)	H10. 12.	工学院大学
◇プログラミング・シンポジウム	H11. 1. 12 (火) ~14 (木)	箱根
◆1999年情報学シンポジウム (FI)	H11. 1. 13 (水) ~14 (木)	日本学術会議講堂
◆ウインターワークショップ (SE)	H11. 1. 21 (木) ~22 (金)	和歌山
◆利用者指向の情報システムシンポジウム (IS)	H11. 1. 28 (木) ~29 (金)	東洋大学
◆分散システム運用技術'99 (DSM)	H11. 2. 4 (木) ~ 5 (金)	東京大学
◆インタラクション'99 (HI, IM, GW)	H11. 3. 5 (金) ~ 6 (土)	東京工業大学

◆: 研究会主催 (英略称) ◇: 事業主催/プログラミング・シンポジウム ●: 総会 ○: 国際会議

情報処理学会「行事」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

- ・行事No., 参加費, 論文集代につきましては会告各行事欄をご参照ください。
- ・欠席の場合も参加費は徴収させていただきます。
- ・会員の方は必ず会員No.を記入してください。記入されていない場合は非会員とさせていただきます。

申込者 (Aは該当番号に○)				
A: 会員/非会員	(1) 会員	(2) 主催研究会登録会員	(3) 学生	(4) 非会員
B: 会員No.			C: ご氏名	
D: 勤務先			E: ご所属	
F: 郵便番号	G: ご住所			
H: Tel			I: Fax	
J: E-mail				

送本先, 照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
K:

申込行事	
L: 行事No.	
M: 参加費	円
N: 懇親会費	円
O-1: 論文集のみ	円
O-2: 論文集のみ	冊

アンケート*宿泊付行事のみ記入 (部屋割参考)	
P: 性別	(1) 女性 (2) 男性
Q: たばこ	(1) すう (2) すわない
R: 年齢	(1) 20代 (2) 30代 (3) 40代 (4) 50代以上
S: 通信欄	

T: 支払方法 (該当番号に○)	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 現金持参	
	(5) 現金書留	
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] * : 送金日が分かる場合, 記入のこと	
U: 送金名義人		
V-1: 請求書 通	V-2: 見積書 通	V-3: 納品書 通
W: 請求書記載名義		
X: 送金に関する照会先		

<p>申込先 (社) 情報処理学会 研究会/事業係</p> <p>〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p>Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534 E-mail:sig@ipsj.or.jp (研究会・シンポジウム)</p> <p style="text-align: right;">E-mail:jigyo@ipsj.or.jp (事業・全国大会・連続セミナー)</p> <p>*E-mailでの申込み: 各項目はカンマ (,) で区切り, (1) ... (5) は選択, その他は文字を記入のこと。</p> <p>[例] A: (1), B: 999999, C: 情報太郎, ... T: (1) (1月30日送金予定), U: 情報太郎, V-1: 1, V-2: 1, V-3: 1, W: (株) ××電気, ...</p>

情報処理学会「書籍」申込書

(本申込書は、お一人1枚でお申し込みください。)

申込者					
A：会員／非会員	(1) 会員	(2) 学生会員	(3) 賛助会員	(4) 購読員	(5) 非会員
B：会員No.			C：ご氏名		
D：勤務先			E：ご所属		
F：ご住所	〒				
G：TEL			H：Fax		
I：E-mail					

送本先，照会先などが異なる場合は下記に記入のこと
J：照会先／送本先

「購入希望書籍」リスト			
書籍名／コード名	希望部数（冊）	単価（円）	金額（円）
K-1-(a)：	K-1-(b)：	K-1-(c)：	K-1--(d)：
K-2-(a)：	K-2-(b)：	K-2-(c)：	K-2--(d)：
K-3-(a)：	K-3-(b)：	K-3-(c)：	K-3--(d)：
K-4-(a)：	K-4-(b)：	K-4-(c)：	K-4--(d)：
K-5-(a)：	K-5-(b)：	K-5-(c)：	K-5--(d)：
K-6-(a)：	K-6-(b)：	K-6-(c)：	K-6--(d)：

M：支払方法	(1) 第一勧業銀行虎ノ門支店 普通 1013945 (月 日に送金予定) *	
	(2) 東京三菱銀行虎ノ門公務部 普通 0000608 (月 日に送金予定) *	
	(3) 郵便振替 (00150-4-83484) (月 日に送金予定) *	
	(4) 現金持参	
	(5) 現金書留	
	[名義人はいずれも (社) 情報処理学会] *：送金日が分かる場合，記入のこと	
N：送金名義人		
O-1：請求書 通	O-2：見積書 通	O-3：納品書 通
P：請求書記載名義		
Q：送金に関する照会先		

<p>申込先 (社) 情報処理学会 図書係</p> <p>〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F</p> <p>E-mail: tosho@ipsj.or.jp Tel(03)5484-3535 Fax(03)5484-3534</p> <p>http://www.ipsj.or.jp/tosho.htmlからもお申し込みいただけます。</p> <p>*E-mailでの申込み：各項目はカンマ(,)で区切り、(1) ... (5)は選択、その他は文字を記入のこと。</p> <p>[例] A：(1), B：999999, C：情報太郎, ... K-1-(a)：情報処理Vol.38 No.3, K-1-(b)：1, K-1-(c)：1600, K-1-(d)：1600, M：(1) (1月31日送金予定), N：情報太郎, O-1：1, O-2：1, O-3：1, P：(株)××電気, ...</p>
--

変 更 連 絡 届

申込日: 年 月 日

● 会員番号	
● 会員種別 <input type="checkbox"/> 正会員 <input type="checkbox"/> 学生会員 卒業予定年月: 年 月	
● 氏名 (漢字)	
● 氏名 (カナ)	
● 氏名 (ローマ字)	
性別 <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女	
生年月日 年 月 日	
機関誌発送先 <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先(個人) <input type="checkbox"/> 勤務先(一括) グループコード:	
) 連絡先E-mail	
) 自宅	住所 〒
)	Tel
)	Fax
) 勤務先	住所 〒
)	Tel (内線)
)	Fax
)	名称
)	所属
)	職種
関連学協会の案内 <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否	
) 卒業学校名	卒業年月 年 月
) 卒業学校名	卒業年月 年 月
論文誌(有料) (6,930円)	A. 購読希望 年 月号より 送金方法 年 月 日 <input type="checkbox"/> 現金持参・現金書留 <input type="checkbox"/> 郵便振替 <input type="checkbox"/> 銀行 銀行振込 B. 購読中止 年 月号より *過分購読費は会費に振替させていただきます。
退会希望	年 月より *会費および購読費未納の方には、後日退会精算請求をいたします。
退会理由	

○ 専門分野コード表 チェックは5つまで。名簿掲載可能(1つ)を○で囲んでください。	
大項目	中項目
<input type="checkbox"/> 01基礎理論と基礎技術	<input type="checkbox"/> 01情報数学 <input type="checkbox"/> 02非線形力学 <input type="checkbox"/> 03アルゴリズム理論 <input type="checkbox"/> 04オペレーションズリサーチ <input type="checkbox"/> 05確率・統計 <input type="checkbox"/> 06数値計算 <input type="checkbox"/> 07数値シミュレーション <input type="checkbox"/> 08高性能計算
<input type="checkbox"/> 02人工知能と認知科学	<input type="checkbox"/> 01知識処理 <input type="checkbox"/> 02人工知能システム <input type="checkbox"/> 03自然言語処理 <input type="checkbox"/> 04生体情報処理 <input type="checkbox"/> 05感性情報処理
<input type="checkbox"/> 03メディア情報処理	<input type="checkbox"/> 01音声言語情報処理 <input type="checkbox"/> 02画像信号処理 <input type="checkbox"/> 03画像・図形認識 <input type="checkbox"/> 04コンピュータグラフィクス <input type="checkbox"/> 05テキスト処理 <input type="checkbox"/> 06メディア処理装置 <input type="checkbox"/> 07マルチメディア処理
<input type="checkbox"/> 04ソフトウェア	<input type="checkbox"/> 01基礎理論 <input type="checkbox"/> 02プログラミング言語と仕様記述 <input type="checkbox"/> 03言語処理系 <input type="checkbox"/> 04ツール <input type="checkbox"/> 05ウィンドウシステム <input type="checkbox"/> 06オペレーティングシステム <input type="checkbox"/> 07プログラミング技術
<input type="checkbox"/> 05データベース	<input type="checkbox"/> 01データベース <input type="checkbox"/> 02情報学基礎
<input type="checkbox"/> 06ソフトウェア工学	<input type="checkbox"/> 01開発技術 <input type="checkbox"/> 02テスト・保守・管理 <input type="checkbox"/> 03ソフトウェアプロセス <input type="checkbox"/> 04開発環境 <input type="checkbox"/> 05ヒューマンファクタ <input type="checkbox"/> 06ソフトウェア品質
<input type="checkbox"/> 07ハードウェア	<input type="checkbox"/> 01基礎理論 <input type="checkbox"/> 02論理回路 <input type="checkbox"/> 03デバイス <input type="checkbox"/> 04計算機アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 05メモリ・I/Oアーキテクチャ <input type="checkbox"/> 06設計技術と設計自動化
<input type="checkbox"/> 08並列処理	<input type="checkbox"/> 01並列処理アーキテクチャ <input type="checkbox"/> 02並列処理ハードウェア <input type="checkbox"/> 03並列処理ソフトウェア <input type="checkbox"/> 04並列処理応用
<input type="checkbox"/> 09ネットワーク	<input type="checkbox"/> 01通信技術 <input type="checkbox"/> 02ネットワーク管理 <input type="checkbox"/> 03コンピュータネットワーク
<input type="checkbox"/> 10システム	<input type="checkbox"/> 01システム技術 <input type="checkbox"/> 02グループウェア <input type="checkbox"/> 03インタフェース <input type="checkbox"/> 04対話型システム <input type="checkbox"/> 05オンラインリアルタイムシステム <input type="checkbox"/> 06制御システム <input type="checkbox"/> 07システム評価
<input type="checkbox"/> 11信頼性と安全性	<input type="checkbox"/> 01信頼性 <input type="checkbox"/> 02機密保護
<input type="checkbox"/> 12教育	<input type="checkbox"/> 01教育
<input type="checkbox"/> 13応用	<input type="checkbox"/> 01企業等への応用 <input type="checkbox"/> 02工学等への応用 <input type="checkbox"/> 03音楽への応用 <input type="checkbox"/> 04人文科学への応用 <input type="checkbox"/> 05障害者補助
<input type="checkbox"/> 14その他	<input type="checkbox"/> 01社会 <input type="checkbox"/> 02その他

記入要領]

1. □欄は該当するものにチェックしてください。
2. 英数字ははっきりわかりやすく記入してください。
 難解なものには(フリガナ)等を付けてください。
 例. 英文字の0 (o)と数字の0 (o), 英文字の1 (l)と数字の1 (i)
3. ○は名簿掲載選択項目ですので、掲載不可の場合は、○の上に×を記入してください。
 ●は名簿掲載必須項目です。
4. 性別、生年月日、卒業学校名・卒業年月については、必須データではありませんが、なるべくご記入ください。

注意事項]

1. 自宅住所でマンション・アパート名等を省略できる場合には、省略形でご記入ください。
2. 勤務先、在学学校名は正式名称でご記入いただき、所属の略称等がございましたら併記願います。
3. 学生会員の方で、在学期間等を延長された方々は、卒業(予定)年月を必ずご記入願います。
4. 一括扱い会員の方は、必ずグループコードをご記入ください。また、通信区分を自宅または勤務先(個人)へ変更の場合には個人扱いに切り替わりますのでご注意ください。
5. 機関誌発送先を海外へ変更する場合には、発送は船便となります。航空便をご希望の場合には実費負担となります。



[変更連絡/退会/各種問合せ方法]

各種連絡/問合せには、なるべくE-mail, Fax, 郵便をご利用ください。

- (1)住所等会員データに変更が生じた場合には、速やかに「変更連絡届」(情報処理付録掲載)に変更内容をご記入のうえ、会員係に毎月20日頃までにご連絡ください。
- (2)退会を希望する場合は、「退会届」(会員番号・氏名・退会年月・退会理由)を必ず会員係に提出してください。
- (3)その他の各種問合せについては、該当する係にご連絡ください。

[論文誌のご購読について]

「情報処理学会論文誌」(月刊)は有料頒布です。まだ購読されていない方はぜひ裏面に購読希望月をご記入いただき、別途購読費 6,930 円(購読費 6,600 円+消費税 330 円)をご送金ください。購読費入金確認後発送となります。

[連絡先電子メールの登録について]

事務局では、会員の皆様へのお問い合わせにE-mailを使用しており、大変好評をいただいております。会員登録データへの連絡先電子メールの登録にご協力をお願いいたします。

[会費等の支払方法]

会費の納入には手続きが簡単便利な「口座自動振替制度」を是非ご利用ください。個人会員(一括扱いを除く)の方で銀行または郵便局の口座をご登録いただければ、会費および論文誌購読費を毎年3月にご指定の口座から自動振替により納入できます。

[会員資格]

会員資格は、毎年度(4月~翌年3月)自動継続となります。

退会、死亡、除名*1等によりその資格を喪失します。

*1.会費の滞納が1ヶ年以上におよぶ時は、その直後の総会の議決を経て除名することがあります。

[各種掲載月(別冊掲載)]

入会申込用紙: 奇数月

変更連絡用紙: 偶数月

「入会のおすすめ」: 3月, 9月

預金口座振替依頼書(銀行・金庫): 3月, 9月

海外からの送金方法(用紙): 6月

賛助会員名簿: 8月

[事務局への送金]

郵便振替 00150-4-83484

第一勧業銀行 虎ノ門支店 (普) 1013945

東京三菱銀行 虎ノ門公務部 (普) 0000608

* 銀行送金の際には別途送金詳細(金融機関名, 送金日, 送金内訳等)を各担当係宛にご連絡ください。

◇各種問合せ先

住所: 〒108-0023 東京都港区芝浦3-16-20 芝浦前川ビル7F

Tel 03-5484-3535 Fax 03-5484-3534

担当係	E-mail	項目
会員	mem@ipsj.or.jp	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明
研究会	sig@ipsj.or.jp	研究会登録, 研究発表会, シンポジウム
事業	jigy@ipsj.or.jp	全国大会, 連続セミナー
図書	tosho@ipsj.or.jp	出版物購入
学会誌編集	editj@ipsj.or.jp	学会誌「情報処理」の掲載内容
論文誌編集	edit@ipsj.or.jp	「情報処理学会論文誌」への投稿
規格	standard@ipsj.or.jp	標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館308-3 Tel 03-3431-2808 Fax 03-3431-6493